

# 伝習館



東京同窓會會報

第21号 2021.1.1



柳川どんこ舟溜まり (写真=高12 石塚武美)

ニホンウナギ稚魚の飼育環境について考える  
伝習館水泳部が最も輝いた日  
柳川徒然草～終戦前後の柳川  
太宰府にて  
69回大同窓会から未来へ  
懐かしいふるさとの味Ⅱ  
“コロナ禍”に思うこと  
世界的ヘアデザイナー・加茂克也を悼む

# 伝習館東京同窓会ゴルフ同好会

～令和2年度活動報告とお誘い～

幹事：石橋泰光（高37回）、山田雅彦（高40回）

一昨年、栢島正司先輩（高16回卒、同好会会長）を中心に立ち上げた東京同窓会ゴルフ同好会。コロナ禍にめげず、令和2年度も下記の通り年3回のコンペを開催しました。巣ごもりや密から逃れ、広々とした青芝の中、のびのびとプレーを楽しめるのがゴルフの魅力です。10月のコンペには過去最多の16人が参加しました。ウィズ・コロナのこの時期、ゴルフを始めた若い世代も多いといえます。

令和3年度も春季（3～4月）、夏季（6～7月）、秋季（9～10月）の年3回のコンペ開催を計画（ほぼ平日に予定）しています。東京同窓会の皆様の奮っての参加をお待ちしております！

## 第4回大会

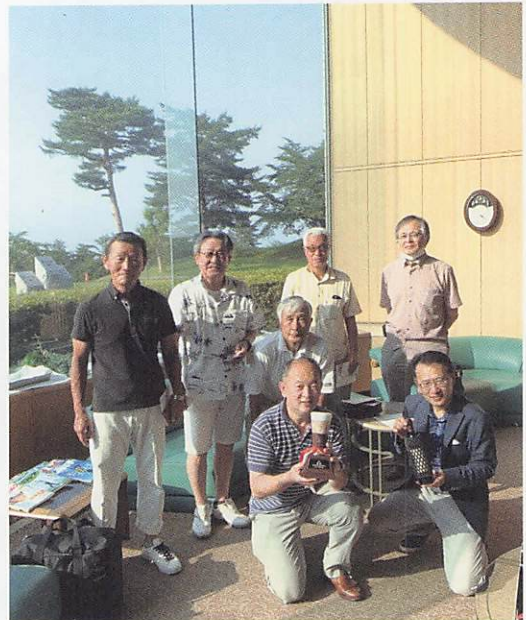
- 1) 開催日 令和2年2月24日（月）
- 2) 場所 葉山国際カンツリー倶楽部（神奈川県葉山町）
- 3) 参加者 8名、優勝：森永明（高32回卒）



春を待たず、2月に葉山で第4回を開催。森永明さん（右から3人目）が優勝

## 第5回大会

- 1) 開催日 令和2年6月5日（金）
- 2) 場所 川越カントリークラブ（埼玉県東松山市）
- 3) 参加者 8名、優勝：江崎浩輔（高37回卒）



第5回コンペで 江崎浩輔さん（手前中央）が初優勝（川越カントリー倶楽部）

## 第6回大会

- 1) 開催日 令和2年10月9日（金）
- 2) 場所 本千葉カントリークラブ（千葉県千葉市）
- 3) 参加者 16名、優勝：中島和彦（高21回卒）

### 【第6回寸評】

藤吉さん雨中に驚異のスコア 85!!

コロナ禍にも雨にも負けず全員完走！

同好会発足後、最大となる16人でスタートし、初参加となる高35大野美佐子女史を含む全員が無事完走！午後から雨が強まる悪コンディション下のプレーとなり皆さん悪戦苦闘するなか、驚異のグロス85（38・47）で高21・藤吉達也先輩がベスグロを獲得。

同期対決となった優勝は、僅差で藤吉先輩を振り切った高21・中島和彦先輩（グロス104、ネット74・0）に軍配が上がりました。



優勝杯を手にした中島和彦さんを中央に全員（ほぼ）マスク姿で勢ぞろい

# 第21号 2021.1.1

東京同窓会ゴルフ同好会の報告

## 東京同窓会本部より

21号目次	1
令和3年 年頭の挨拶・東京同窓会総会告知・会長 白谷 政則	2
学年幹事会の活動報告・学年幹事一覧・決算報告	3
賛助金ご協力状況報告	4
賛助金通信欄コメント	5

## 母校日より

進路実績、部活報告	6
-----------	---

## 特別再録

伝習館水泳部の最も輝いた日 ～本校初の日本一へ、五輪へ	高3 酒井清行	7
--------------------------------	---------	---

## 特別寄稿

ニホンウナギ稚魚の飼育環境におけるクスノキ落ち葉の役割と 感染症について考える	高35 木庭 慎治 伝習館高教諭	10
--	------------------	----

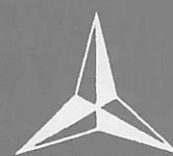
## 先輩・後輩より

・柳川爆撃さる 米軍母校空襲の記憶	高2 吉川 良平	13
・柳川徒然草 その2 終戦前後の柳川事情	高4 小野硯一郎	13
・太宰府にて～立花の軌跡にも触れる	高12 野上 一治	14
・杵屋勝国さん、人間国宝認定祝賀会	高14 佐々木 優	17
・第69回大同窓会から未来へ	高41 下河 敏彦	17
・懐かしいふるさとの味〈今昔〉その2	高4 荒井健之輔	20
・新型コロナ禍と日本人の働き方改革	高5 下河 秀行	25
・35回生、世界的ヘアデザイナー 加茂克也さん 追悼	高35 池上 英次	25
・新型コロナ禍、に思うこと	高21 北島 正常	27
・コロナウイルスニモマケズ、コロナウイルスの歌	高18 福山 博彰	29
・詩 寺の鐘、この世の温帯、夏暮るる	高14 井上 晴美	30

## 告知板

ふるさと瓦版	31
編集後記 会報寄稿募集、広告募集、東京同窓会 Facebook、 伝美ギャラリー 木村松峯作品ほか	32

# 伝習館



# 東京同窓会 会報

# 東京同窓会本部より

## 令和3年 年頭挨拶

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスにより世界中が大混乱に陥ってしまい、東京同窓会の行事も残念ながらすべて中止せざるをえない一年になってしまいましたが、今年こそは開催できるよう下記の通り準備を進めております。

経済活動が元に戻るには何年かかるか判りませんが、あまりにも長引くと自粛で身体だけではなく心まで病んでしまわないか、心配です。この頃はソロキャンプやゴルフの1人プレー、スポーツジムでは個室トレーニングなどコロナにうつらない・うつさない健康維持法が見聞されます。また、この会報も読んで楽しみながら、時には投稿すれば（今年は投稿するぞ！と思ってもらえれば）精神的な若返りに役立つと思います。

今年は春の花見に5月の伝習館東京同窓会総会、夏は東京五輪・パラリンピック、秋は同期会、友人・知人との会食など去年の分も含めて2倍楽しめる一年になるよう願っています。

今年も健康第一で頑張りましょう!! コロナに負けるな!!

伝習館東京同窓会  
会長 白谷政則



## 延期の総会は今年5月16日に再び予定!

### 伝習館東京同窓会総会のお知らせ

日時： 令和3年5月16日(日) 11:00～14:30

場所： ホテルグランドパレス「2階ダイヤモンドルーム」  
千代田区飯田橋1-1-1 地下鉄『九段下』徒歩3分

会費： 男性、女性ともに8,000円(予定) 学生無料

講演/アトラクション(予定)：原 達郎氏 金見 美佳さん

昨年予定の総会を1年延期で準備していますが、コロナの沈静状況を見極め2月中に実施か中止の判断をします。実施の場合改めてご案内を3月末までに皆様に郵送いたし、中止の時は学年幹事の方からそれぞれ連絡していただきます。(白谷政則)

# 学年幹事会の活動報告

高21 白谷政則

東京同窓会の一年（R元.11～R.2.10）

## 伝習館関係

R元.10～会報20号発行の最終調整

R2.1.1. 会報20号発行

R2.1.25 総会実行委員会

高32～35回生8名と常任幹事数名

集まり準備に取り掛かる

その後コロナウイルスで学年幹事会を開けない状態です

R2.4.15 学年幹事会に代わり3月

までの状況、経緯を郵送・FAX・メールで送信

R2.8.15 学年幹事会が未だに開けない為、その後の近況報告と伝習館

だよりを学年幹事の方へ郵送

県人会関係

東京福岡県人会 同窓会協力委員会

20校30名で年6回定例会議を開催

H元.11.30 就活を応援する会

伝習館卒の大学生の参加は無かった

R2.2.1 同窓会役員交流会

白谷会長、西原常任幹事参加

令和2年3月以降休会

柳川市関係

R2.1.11～12 於 浅草

まるごとにつぼん 柳川フェア

東京同窓会会報20号にチラシ同封

今年（令和3年）は開催なし

## 伝習館東京同窓会学年幹事名簿

令和3年1月現在

卒業年次	氏名	卒業年次	氏名	卒業年次	氏名
中学第55回	江崎和夫	同上	福山雅文	第36回	指田初代（藤木）
第2回（名誉会長）	江崎正直	第18回	吉田シヅカ	同上	猿渡由季子（渡邊）
第3回	酒井清行	同上	十時理展	第37回（常任幹事）	石橋泰光
第4回	荒井健之輔	同上	満生英二	同上（常任幹事）	志牟田美佐
同上	渡邊喜亮	第19回	芹川季代子（立花）	同上	桑山 薫
第5回	岸 栄洋・洋子	同上	田中茂利	第38回（常任幹事）	金子千恵美
第6回	石橋 修	第20回（常任幹事）	高巣和登	第39回（常任幹事）	高橋 徹
同上	戸上軍治	第21回（常任幹事）	西原正道	第40回	山田雅彦
第7回	原田 晃	同上（会長）	白谷政則	同上	千釜洋子
第8回	池田孝人	同上（編集長）	北島正常	同上	石橋美和
同上	一色康子	第23回（常任幹事）	樋口貴美子（田上）	第41回	古賀貴統
第10回（編集委員）	内山秀生	同上（常任幹事）	高田健二	同上	下河敏彦
同上（編集委員）	永倉素子（跡部）	第24回（常任幹事）	酒見和平	同上	鶴 由希子
第11回	永尾弘行	第25回	稗田克彦	第42回	弥永邦夫
第12回	小野アケミ（岸川）	第27回（常任幹事）	高橋圭介	第51回	本村泰輝
第13回	田中利道	同上	松藤峯成	第54回	古賀智法
同上	尾田義昭	第28回（常任幹事）	吉開孝人	第55回	龍 幸弘
同上（副会長）	原田万紗子（立花）	第32回	甲斐田幸輝	第56回	藤木 将
第14回	石橋俊一	同上	一木亮之介	第63回	佐藤公治
同上	高木節子（堤）	第33回	高椋佳夫	第65回	吉岡和政
第15回	後藤民子	第34回	梅崎達也	第66回	池田真由
第16回（副会長）	梶島正司	第35回（常任幹事）	池上英次	第67回	松尾康平
同上	水澤昭子（田中）	同上	土井啓郁		
第17回	浦川邦憲	同上	大野美佐子（山田）		

### 会計報告（2019/11/1～2020/10/31）

収入	郵貯	698,400	賛助金 159件
	銀行	100,000	広告収入 1件 柳川市ブランド振興課
	当期収入	818,404	賛助金 7件
支出	会報発行	1,099,939	受取利息
	学年幹事会	2,300	会報20号発行費用一式（発送費用含む）
	事務用品費	12,600	振替用紙送料
	県人会	12,000	会議室使用料（駒込文化創造館）1回
	広告費	40,000	コピー代（郵送3回）
	手数料	27,743	お茶代（1/25 実行委員会）
	印字サービス料	1,703	切手代
	当期支出	1,206,939	東京福岡県人会：同窓会役員交流会2名
			伝習館大同窓会（柳川）広告費
			郵貯振替口座手数料
			郵便振替通知手数料
当期損益	△ 388,535	銀行振込手数料	
		郵貯振替用紙印字サービス料	
前期繰越	2,060,901		
当期損益	△ 388,535		
次期繰越	1,672,366		

## 令和元年～令和2年度 伝習館東京同窓会決算報告

# 【賛助金ご協力状況報告】

(令和元年12月1日～令和2年10月31日)

年初早く発刊したいため10月末日〆切と変更しました。(氏名は右から順)

回生	氏名
高6	石橋 修
高6	森 清 旨
高7	田中 敬之助
高7	古賀 國 利
高8	樋口 綾 子
高8	高石 順 子
高8	市川 玲 子
高8	後藤 亨
高9	岩丸 純 芳
高10	江口 武
高10	古賀 雄次郎
高10	大島 喜代子
高10	高島 早 苗
高10	大村 平 人
高11	原 尻 満 子
高11	岡 辰 彦
高11	古賀 敏之
高11	與田 広 巳
高11	鶴 精 三
高11	佐藤 輝代子
高11	城島 孝 雄
高11	木下 淑 子
高11	秋永 栄 子
高12	甲木 宏 明
高12	馬場 敦 子
高13	田中 利 道
高13	内山 岑 生
高14	甲斐 昌 彦
高14	宮原 修
高14	今泉 京 子
高14	井上 晴 美
高16	高 椋 正 民
高16	黒田 タエ子
高17	龍 敏 彦
高17	中島 功
高17	宇木 博 巳
高18	吉田 シヅカ
高18	緒方 敬四郎
高18	古賀 行 夫
高18	細川 正 子
高19	正岡 喜 則
高19	森田 達 雄
高20	諸藤 由美子
高23	坂本 智 臣
高24	後藤 一 誠
高24	松藤 理恵子
高26	野口 佳 延
高30	松本 徳 男
高30	橋爪 政 男
高32	咲村 あかね
高35	山田 英 孝
高42	弥永 邦 夫
高43	石橋 英 宣
協賛 0.5 口	
高11	久賀 朝 文
高20	近藤 敬 介
高20	石井 ヤス子
高23	下 田 真知子

(1口 2,000円)

回生	氏名
高18	川口 秀 喜
高18	満生 英 二
高18	十時 理 展
高20	高巢 和 登
高20	東 寛 治
高20	椀島 豊 子
高21	千代島 道 生
高21	中島 和 彦
高21	西原 正 道
高22	竜 美代子
高24	大橋 久 代
高27	江崎 友 大
高27	高橋 圭 介
高28	吉開 孝 人
高35	池上 英 次
高36	猿 渡 由季子
協賛 2.2 口	
高23	田中 和 夫
協賛 2 口	
女40	山田 子 テ
高1	高石 満 之
高8	一色 康 子
高10	東 辰 子
高10	原田 万紗子
高10	永倉 素 子
高17	浦川 邦 憲
高24	山田 直 美
高27	松藤 峯 成
協賛 1.5 口	
女35	原 ヒサ子
高8	大村 泰 生
高8	池田 孝 人
高10	川口 圭 之
高11	近藤 素 子
高11	龍 勝
高12	尾田 常 昭
高12	横山 正 和
高13	山田 孝 輝
高15	一木 克 子
高15	後藤 民 子
高16	水澤 昭 子
高21	坂井 友 美
高23	樋口 貴美子
高23	竹内 幸 代
高34	真鍋 和 裕
協賛 1 口	
高1	井上 高 司
高2	一力 貞 子
高3	田島 順 次
高3	臼井 ヒロエ
高4	野田 美奈子
高4	今村 啓 爾
高4	椀島 啓 之
高5	松永 悦 子
高5	武田 八重子
高5	宮川 政 實
高5	野口 幹 彦
高5	原 たか子
高5	高橋 絹 子
高6	本間 洋 子
高6	池田 勝 嗣

回生	氏名
協賛 25 口	
高21	白谷 政 則
協賛 15 口	
高5	沖 美津正
協賛 10 口	
高16	藤 吉 憲 生
柳川ブランド 推進協議会	
協賛 7.5 口	
高3	原田 敏 雄
協賛 5 口	
高2	小野 善 睦
高2	江崎 正 直
高4	渡邊 喜 亮
高5	江口 政 司
高5	下河 秀 行
高5	岸 栄 洋
高6	戸上 軍 治
高6	島 添 静 恩
高6	木村 峯 子
高7	中村 奨 佑
高10	内山 秀 生
高10	原田 智 昭
高11	永尾 弘 行
高12	野上 一 治
高14	濱尾 淑 江
高16	椀島 正 司
高16	三小田 雅 美
高17	長瀬 和 子
高19	野口 昇
高19	田中 茂 利
高20	安永 保 子
高21	師村 尚 子
高21	北島 正 常
高24	酒見 和 平
高27	友清 寛
高32	濱 武 久 司
協賛 4 口	
高13	岡部 彰 邦
協賛 3 口	
中55	武藤 徳 一
高8	永倉 正 彦
高18	平 野 勇
高18	江口 吉 光
高29	古賀 宣 明
協賛 2.5 口	
女47	作山 ミ ツ
高2	西木 須矢子
高2	井上 和 子
高4	荒井 健之輔
高4	高石 敏 男
高5	岸 洋 子
高5	中村 義 行
高8	入部 一 郎
高8	豊島 黎 子
高9	石瀬 籌子(カズコ)
高10	松藤 俊 正
高11	樋口 守
高12	小野 アケミ
高14	高木 節 子
高16	金子 修

# 伝習館東京同窓会 賛助金通信欄コメント

敬称略

高18 吉田シヅカ

埋もれ火をポツポツいかに燃やさんか

高21 千代島道生

令和2年輝かしい伝習館の未来を祈念いたします。

高35 池上英次

会報20号メモリアルおめでとうございます。次回の総会楽しみにしています。

高10 高島早苗

トンボ釣りの光景を見聞きし「ホンダーイ」と聞こえましたのでトンボの事を方言でホンダーイと思い込んでいましたが、銀やんまの事を「ホンナイ」と知りました。

高18 細川正子

いつもありがとうございます。この時期になると横浜三ツ沢球技場へ高校サッカー選手権出場のため伝習館を応援に行った事をなつかしく思い出します。

高21 北島正常  
コロナ禍前、1月末帰郷のおり荒井先輩が会報に書いておられた辰巳屋でチャンポンを頂き、大松下でアメカタ、坂田屋で米せんべい、梅花堂で越山もち、さらに御花でお土産買ひ。伝習館校内の三稜会館では水泳部先輩たち日本一の偉業や練習風景写真に自分の飛び込み姿を見つげ感激！です。

高24 山田直美

会報毎回隅から隅まで見ています。楽しみの一つです。

高14 宮原修

会報誠にありがとうございました。

高3 原田敏雄

86才毎日出勤がんばっています。

高5 松永悦子

いつもお送り頂き有難うございます。少々足元に自信がなくなりましたが出来るだけ出掛けの決心掛けております。音楽全般に興味でコーラス、習ったことのないピアノを弾いております。ボケ防止には良いそうです。

高13 山田孝輝

お世話いただきありがとうございます。いつも楽しく拝読しています。

高24 後藤一誠

いつも情報ありがとうございます。これからもよろしく願います。

高2 小野善睦

日本一の同窓会報ですね！ 世界一かな？

高15 一木克子

会報いつも楽しく拝見しています。編集の方々やお世話下さっている方感謝します。

高10 原田万紗子

コロナウイルスは大変ですね。皆で力を合わせて乗り越えましょう。白谷会長はじめ学年幹事の皆様のご努力で、伝習館東京同窓会の絆が途切れないことは素晴らしいです。このような時だからこそお互いのコミュニケーションが大切なのでしょうね。

高2 江崎正直

東京同窓会のご発展を祈ります。

高8 入部一郎

H30年8期の同期会に参加。帰路は船小屋へ東京へ函館北斗と日本列島を縦断しました。

高1 井上高司

旧年はお世話になりました。小生米寿を迎えさりよく退会したいと思います。

高21 白谷政則

コロナ禍の中で賛助金のご協力、誠にありがとうございます。東京同窓会の運営は賛助金で成り立っていますが、年々厳しくなっています。さらなるご協力をよろしくお願い申し上げます。

高6 戸上重治

会報20号記念企画に相応しい充実した記事満載の立派な会報誌でした。編集の方々に感謝！感謝！です。

高9 石瀬壽子

いつも会報楽しみに拝見させていただいております。毎回送金出来ず申し訳ございません。少額ですがお納め下さい。

高16 栞島正司

会報20号立派なしありがとうございます。北島編集長、編集委員各位ありがとうございます。

高6 森清旨

本年度の会報ありがとうございます。各頁に伝習館の香りがあふれています。

高17 長瀬和子

病気で歩くのが大変です。

※東京同窓会の皆さん、この通信欄コメントに近況などお寄せ下さい。

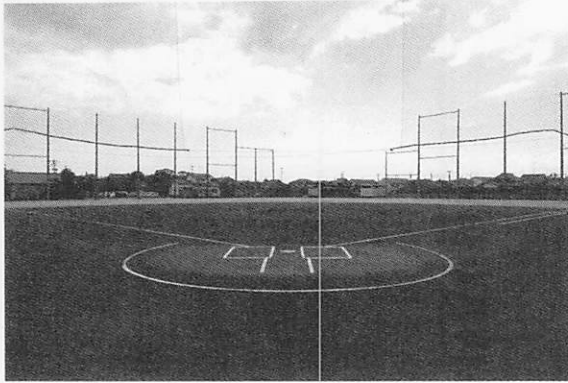
高18 平野勇

賛助金3口をお届けします。

高7 古賀國利

皆様ご苦労様です

(伝習館だより) から



野球グラウンド

## 令和元年度進路実績 (R2.4)

( )内の数字は合格者人数

### 国公立大学合格者 (前期・後期・推薦・AO) 84名

大阪大 (1)	横浜国立大 (1)	九州大 (5)	山口大 (3)
熊本大 (13)	九州工業大 (2)	福岡教育大 (6)	佐賀大 (16)
長崎大 (5)	大分大 (1)	鹿児島大 (8)	鹿屋体育大 (1)
茨城大 (1)	下関市立大 (4)	山口県立大 (1)	福岡女子大 (3)
北九州市立大 (1)	福岡県立大 (1)	熊本県立大 (1)	長崎県立大 (5)
宮崎公立大 (1)	名桜大 (4)		

### 私立大学合格者 410名

慶應義塾大 (1)	同志社大 (6)	立命館大 (20)	関西学院大 (2)
関西外国語大 (1)	京都外大 (1)	同志社女子大 (1)	近畿大 (3)
京都女子大 (1)	西南学院大 (53)	福岡大 (137)	ほか

### 準大進合格者 2名

防衛大進 (2) (最終)

### 公務員合格者 2名

厚生労働省福岡労働局 (2)



## 部活動実績

令和元年度

### バレーボール部

○第14回柳河立花藩近畿高校生バレーボール大会  
【女子】第3位

### 弓道部

○第53回みやま市瀬高町遠の弓道大会  
【高校男子個人】第5位 8中  
○平成31年度福岡県高等学校総合体育大会弓道選手権大会南部ブロック予選会兼九州高等学校体育大会弓道選手権大会南部ブロック予選会  
【女子個人】7中/4中/6中 県大会出場  
【男子個人】5中 県大会出場  
○令和元年度福岡県高等学校弓道競技新人大会南部ブロック予選会兼第27回全九州高等学校新人選手権大会南部予選会  
【女子個人】第2位 県大会出場

○第33回柳川市長杯白秋祭弓道大会  
【高校男子個人】第3位/第8位  
【高校女子個人】第4位/第7位

### 卓球部

○2019年度福岡県高等学校総合体育大会卓球選手権大会南部ブロック予選会  
【男子シングルス】第5位/第20位  
【女子シングルス】第17位 県大会出場  
【男子ダブルス】第6位  
【女子ダブルス】第12位  
【学校対抗男子】第4位

○令和元年度福岡県高等学校卓球新人大会兼第53回全九州高等学校卓球新人選手権大会福岡県南部ブロック予選会  
【男子シングルス】優勝/ベスト32 全国選抜予選出場  
【男女学校対抗】第3位  
○令和元年度福岡県高等学校卓球新人大会兼第53回全九州高等学校卓球新人選手権大会福岡県大会  
ベスト32

### バドミントン部

○2019年度福岡県高等学校総合体育大会バドミントン選手権大会南部ブロック予選会  
【女子団体】第8位 県大会出場

### 陸上競技部

○令和元年度福岡県高等学校総合体育大会陸上競技対校選手権大会南部ブロック予選会 (兼全国高等学校総合体育大会南部ブロック予選会)  
【男子1500m】第5位  
【女子200m】第3位  
【女子400m】第5位  
【女子走高跳】第2位  
【女子4×100mR】第6位  
【女子4×400mR】第2位

○2019年度福岡県高等学校総合体育大会陸上競技対校選手権大会 (兼第72回全国高等学校総合体育大会陸上競技選手権大会福岡県予選大会)  
【女子走高跳】第10位

○令和元年度福岡県陸上競技団体最終選考会南部ブロック予選会兼福岡県高等学校陸上競技学年別大会南部ブロック予選会  
【男子A1500m】第2位  
【男子A5000m】第2位  
【女子A走高跳】第3位  
【女子A200m】第2位  
【女子A400m】第2位  
【女子A3000m】第3位 県大会出場  
【女子B800m】第1位  
【女子B1500m】第2位  
【女子B100m】第2位  
【女子B200m】第2位  
【女子4×100mR】第4位  
【女子4×400mR】第2位

○2019年度福岡県陸上競技団体選考会兼第5回福岡県高等学校陸上競技学年別大会  
【女子A走高跳】第5位  
【女子A200m】第5位  
【女子B100m】第7位  
【女子B200m】第8位  
【女子B1500m】第6位  
【女子B800m】第7位

○令和元年度福岡県高等学校陸上競技対校選手権新人大会南部ブロック予選会  
【男子800m】第3位  
【女子走高跳】第3位  
【女子200m】第1位  
【女子100m】第6位  
【女子200m】第6位 県大会出場  
【女子1500m】第3位  
【女子800m】第2位  
【女子4×100mR】第4位  
【女子4×400mR】第2位

○令和元年度第41回福岡県高等学校新人陸上競技選手権大会兼第37回全九州高等学校新人陸上競技大会福岡県予選大会  
【男子800m】第5位  
○令和元年度福岡県高等学校新人駅伝競走・新人ロードレース南部ブロック大会  
【男子ロードレース】第1位/第3位/第10位  
【女子ロードレース】第1位/第5位/第7位

### サッカー部

○2019年度福岡県高等学校総合体育大会サッカー選手権大会南部ブロック予選会  
第5位 県大会出場  
○令和元年度福岡県高等学校サッカー新人大会南部ブロック予選会  
第2位 県大会出場

### テニス部

○福岡県テニス新人大会南部ブロック予選会 (個人シングルス)  
第8位 県大会出場

### 弁論・放送部

○令和元年度福岡県高校放送コンテスト筑後地区大会 (福岡県高等学校芸術・文化連盟主催)  
【アナウンス部門】第6位/入賞  
【朗読部門】入賞  
○第43回全国高等学校総合文化祭佐賀大会  
【放送文化部門アナウンスの部】出場  
○令和元年度福岡県高文祭放送コンテスト筑後地区大会  
【アナウンス】入賞 県大会出場  
【朗読】入賞3名 県大会出場

### 美術部

○第34回高文連筑後地区高等学校美術・工芸展  
【絵画部門】特選  
【デザイン部門】特選  
【彫刻部門】特選  
○第34回福岡県高等学校総合文化祭美術・工芸部門県大会  
特選 2名  
○第33回デザインコンペ  
入選 4名  
○第30回絵はがきコンクール  
入選

### 吹奏楽部

○福岡吹奏楽コンクール  
銅賞「交響的詩曲『走れメロス』」

### 書道部

○高文連地区大会書道部門  
特選  
○高文連県大会書道部門  
秀作  
○第32回柳川市総合美術展書道部門  
入選 14名

### 自然科学部生物部門

○平成31年度日本水産学会春季大会高校生ポスター発表  
奨励賞 (平成31年3月28日 東京海洋大学にて)  
○うなぎの未来? うなぎのいま 優秀発表賞 (東アジア鯉学会 2019年7月8日 東京大学にて)  
○eco-1グランプリ  
奨励賞 (2019年12月7日 東京ビッグサイトにて)  
○第5回全国ユース環境発表大会  
先生が選ぶ特別賞 (九州・沖縄地方大会 2019年12月8日)  
○第34回福岡県高等学校総合文化祭福岡大会 優秀賞  
○全国アマモサミット2019ミヤギ海辺の自然再生高校生サミット発表

### 演劇部

○3年生引退公演  
4月28日 水の郷ホール  
○第24回高等学校うきは発表会  
優秀賞  
○第34回福岡県高等学校総合文化祭演劇部門県大会  
舞台美術賞・優秀賞  
○第34回福岡県高等学校総合文化祭演劇部門筑後地区大会  
優秀賞・舞台美術賞

### 総合部

○2019年度福岡県高等学校総合体育大会空手道選手権大会中部・南部ブロック予選会  
【男子個人形】ベスト8 県大会出場  
○第38回福岡県高等学校音楽コンクールピアノ部門  
即興曲第4番 番八短調遺作作品66 フレデリック・ショパン作曲  
銀賞



『伝習館水泳部の  
最も輝いた日』  
全国大会優勝を顧りみて  
高三回生 酒井清行きよつら  
二〇〇二、十月記

昭和二十六年の夏、福岡県 南筑大会（明善高プール）及び県大会（七月二十九日大濠プール）においての優勝校として八月十八、十九日の奈良天理プールにおける西部高等学校水上競技大会に出場した。この試合では八百米リレー（酒井、石橋、古賀、横田）で9分29秒6で一位となるなど総合力を発揮して二位の白枮高校（大分県）を十六点もの大差をつけて優勝した。日本水連の二十六年度機関紙の大会評によると「200で二位、100で三位に喰い込んだ新人古賀（伝習館）の活躍は長距離の2人（石橋明、横田宣明）とともに伝習館優勝の因をなしたものと いへる。」（吉田嶺吉氏、大会々々）とあります。入学間もない一年生ながら古賀君は骨太の体格と泳法において既に天才的な素地があることを直感しました。（彼は早大を経て、1956年のメルボルンオリンピックに出場）決勝のレース前にそわそわして落着かない彼を三年生の私がペース配分のことをよく言い聞かせ教えてやりました。脚や腕を揉ん

でやったものです。上級生に揉んでもらったことで自信を取り戻し快泳しました。この時以後は超弩級の大選手に育つてくれました。後日談だが下級生をつかまえては揉み手が疲れ果てるまで揉ませていたと聞き、この時のことが前例となり癖になってしまったかも知れません。

西部大会の記録と得点

百米自由形	③古賀 学	1分3秒2
二百米	②古賀 学	2分18秒4
四百米	①横田宣明	4分51秒0
千五百米	③石橋 明	4分53秒8
八百米リレー	①石橋 明	19分25秒0
	⑤横田宣明	20分8秒8
	③古賀、石橋、酒井、横田	1分54秒2
	①（酒井、石橋、古賀、横田）	9分29秒6
得点	①から⑦着まで夫々	
	7、5、4、3、2、1点	
	③4点×3＝12点	
	⑤2点×1＝2点	
	合計40点で優勝。二位以下は、白枮高	
	24点、鹿本高22点以下高知商16、佐伯鶴	
	城16、浮羽16、丹原14、三瀧7点となっ	

全国大会、東西優勝校争覇戦へ

余裕をもって西部男子高等学校選手権水上競技大会に優勝した伝習館は東部の

優勝校の伊東高校（静岡県）との一対一の争覇戦でナンバーワン校を決めるといふ最後の難関に向け夜汽車の煙をもとせせず長駆上京しました。本郷の東大正門前近くの大栄館という旅館に宿泊しました。当時は未だ食糧難（配給制）だった為、米一升を各人が持参したように思います。緒方勇雄先生（監督）は京都大学出身だったと聞いておりましたが、どういふ積りか東京大学の安田講堂を中まですり込んで見学しに連れて行って下さいました。東大に入れという示唆だったのか、将又ご本人が京大と比べておられたのか定かではありませんが、最高学府に足を踏み入れたことで運動選手には「よかもんば見たたい」という程度の安らぎは感じました。試合を前にして寛ぎを与えよとの親心だったのかも知れません。昭和二十六年八月二十三日夕方七時、二百米リレーを皮切りにいよいよ対抗戦が始まりました。水温気温共三十一・五度と記録にあります。夕方方には雨も上がりやや涼しくなり良いコンディションになっていました。途中から六基の照明が点灯され、はじめて経験する夜間照明の中を泳ぐことになりました。緑りがかった青い幻想的な光芒のさす水中は得も言われぬ美しさで心安まる母の胎内を偲ばせて（呵々）夢の中の様でした。火薬の臭い漂う大砲のピストルでスタートしました。相手の伊東高校は熱海の先で至近距離故に大勢の応援団が陣取っていました。戦後復興の時代に世界新記録を次々に出した古橋、橋爪選手という偉大な先達の影響から一般観客席は観衆で一杯で

した。対抗戦ではオリンピックでもそうですが八百米リレーが一番最後に組まれるレースと決まっています。200mずつ四人がリレーする競技で総力戦となるので、いわば大会の華でもあります。各チームの応援は声を枯らして最高潮に達します。会場である神宮外苑プール（50m公認）はJR信濃町駅と千駄ヶ谷駅間の線路に沿った所に位置し戦前からの歴史的名勝負（日米対抗やインカレ等々）があつたいわば水泳の甲子園で、憧れの的ですよ。スタート台の高さが他のプールよりもずいぶん高いなあと感じました。もう夜の十時になっていました。八百米リレーの結果が長く引っぱる独特な抑揚のある声でアナウンスされようとしていきます。明治神宮の森は静寂に静まり返ってこれを待ち受けています。「ただいまのけっかーいっチャーく第三のコース伝習館校、古賀君、石橋君、酒井君、横田君、じかアーン9分22秒8。にチャーく第五のコース伊東高校、木村君、鈴木君、川口君、井原君、じかアーン9分24秒2」。注：印のところは母音を高めに長く発音する。声に出してみても下さい。

我が母校伝習館高等学校が最終レースに勝利して遂に全国高等学校の頂点に輝いた瞬間でした。もしこれに負けていれば同得点ながら27対27ですがリレーを制した伊東高校が優勝となる際どい勝負だったのです。結果は30対24でした。

出場選手11名（監督1名を含め15人以内）実施要項）  
三年生（6人）

一郡 辯(主将)、酒井清行(副将)、石橋 明、大橋澄雄、横田宣明  
二年生(4人)  
今村魁夫、柿野繁喜、田中铁也、平野(山田) 求

一年生(1人) 古賀 学

監督、緒方勇雄先生、

副監督、待鳥 恵先生

採点法 1位3点、2位2点、3位1点  
リレーは1位3点、2位0点

東西の区分は大略、琵琶湖を境とし具体的には京都、滋賀、奈良、和歌山の各県を含む南北以西の各県を西部としています。従って関ヶ原(岐阜県にあるが滋賀県に隣接)を境として分けたとも言えます。恰も歴史上の関ヶ原の合戦を彷彿とさせる因縁の対決でした。十種目における熱闘の結果は別表Ⅱ略通りで200平泳は6対0と圧勝、相手はバタフライで疲れ棒立ちになって惨敗したのです。監督とOBの待鳥啓三氏は秘策を練って一位の数を多く狙って同じ長距離の石橋と横田を200、400、1500米に重複しないよう采配された。相手も、本来自由形短距離の井原選手を平泳ぎ(バタフライ)に投入するなど知恵を絞った様だ。八百米リレーの第一泳者だった古賀君は途中でパニックの紐が切れズリ落ちそうで泳ぎづらく予想外の後れをとった。五米以上離れていたのを、長距離で超高校級の石橋君へタッチした。どの位リードがあったか定かではないが、コリヤア頑張らんと相手は強敵だし危なかばいと感ずる距離し

かなかったと思っていました。相手方の川口友平君は、長距離に強い十傑に入る程の名前の通った選手でした。五百五十米をターンした時はまだリードしていたことを覚えていたがどンドン迫って来ているのを肌で感じた。あと五十米を必死に泳ぎ切って横田君にタッチして相手をみると水面に着水する寸前でした。一艇(体) 身位引離されていたようです。自己のベストタイムだったようで今はなき待鳥啓三先輩に何度も「あん時はよく泳いだぞ、頑張った」との誉め言葉を戴いたことを懐古しています。体育の先生で女子水泳部の監督として女性陣を引率して来られていた松尾絹子先生は都会的で垢抜けしたマドンナ美人で、若々しい女性でしたがスタート台に立つ直前に右の二の腕を頑張りなさい！と叫んでギョッとねずまれ(抓ねられ)ました。これでやる気と元気を貰ったようです。前半は大きな泳ぎで百米から百五十米の間でピッチをだんだん早くして、最後のターンからはスピードに乗って一気に泳ぎきったと自負しています。アンカーの横田君はあと二十五米の所で猛然と馬力を出して並び、アツという間に抜き去り、二米位、時間にして一秒四リードしてゴールイン。西日本新聞によると「水車のように腕を回転させ古橋ばりの怪力を出した横田によって勝ち、優勝す。」と報じた。負けて勝ってまた負けて最後に勝ったレースは加山雄三主演の若大将シリーズの映画にそっくりの白熱した名勝負でした。閉会式では高松宮殿下より直々に一郡主将へ「おめでとー」の低い声と

ともに高松宮益と優勝旗を賜わった。緒方先生の遺稿によると東京駅頭には山崎厳議員等十数名が歓呼して見送って下さったとあります。帰着の瀬高駅からは大津山元部長のきもいりで、後部に展望台付の堀川バスに乗って山川(石橋君が竹飯)から川口(古賀)、枝光までデモリ、日を改めて国際映画館(昭和堂本屋の先)で晴れの顕彰式をあげて貰ったり、母校の講堂でも祝賀会がありました。まだ戦後の立直りができていない頃の柳川地方の人心に明るい風を吹きこんだものと思います。優勝余聞として、岡部平太さんの後日談であるが、神宮プールで決戦が行われていた夕刻、二人の紳士が高級車で外苑道路を通った。場内放送の「伝習館高校、石橋君」というアナウンスが何度も轟くのを耳にされたのである。一人はBSの石橋正二郎氏で、柳川の伝習館が強く久留米はどうしているかという話になった時、岡部さんは、プールさえあれば久留米でもという答えをした。これが文化センターとか久留米の学校全部にプールを寄贈する発端になったという。文化センターの主事をやらされた名物男の岡部さんのこの話は恐らく作り話ではあるまい。と記述されています。(県立75周年記念誌P.220より)

### 練習風景など

当時の水泳部員は男女合わせて30名近くだったので効率よく泳ぐかが課題で、全員が順繰りに泳ぐ工夫がされた。

バタ足、ダッシュ等々。人材にも恵まれ、笑わせる愉快な一団、真面目部員、学業志向の部員などが夫々に役割分担をし各自が自発的に役目を果たしていました。プールに夕闇がやってくるまで、桜の花と同じ頃から練習を始め、胸から胃が飛び出さんばかりの苦しいインターバルダッシュ。(50米とか75米を全力でスピードで泳ぎ、30秒間隔で十回も二十回も繰り返す練習。) 声も出さず心の中でコンツキシヨコンツキシヨと呼びつやつと終る練習。オーイ終ったぞ！ みんなバケツを叩いて歓声をあげたもので、帰路につく三、四十分は笑いと合唱で盛り上がったものです。私ごとですが、毎朝必ずプールのスタート台に立ち自分の姿を水面に映し、水を見、自分を見ていると、ヤルゾという気持ちで全身から湧き立ちゾーツとする程の奮起心を体感しそのまま一時間目の授業に出たものです。昨夜はよく勉強したか、水泳も全力で練習したか、こういう反省と自らへの励ましとを毎日続けたことは尊い経験でした。大津山ツンさんや数人のOBが熱心に練習を見に日参されるので、いい励みになりました。そこには見に来るだけの価値がある活気溢れる練習風景があったればこそでOBと現役陣の間にも一体感が醸成されて、いい雰囲気満ち満ちていました。水泳にうち込み試験をのり越えようと努力する過程の中で明朗で不屈な、他人の痛みがわかる人材が排出したと信じます。学業とスポーツにおいて現役の生徒諸君の更なる奮起を切望します。OBの同窓生に於かれても、我が母校、伝習館が

全国制覇の偉業を成し遂げたことを語り伝え、その栄光と誇りを胸中にいつまでも自分達のものとして、共有し続けて戴くよう願ってやみません。

## 備忘録

①伝習館にプールができたのは昭和四年五月。25米、幅10米、六コース、瑞松院の方へ約5種六コース側が低く傾斜あり。あおこ、ゲンゴロ虫、水スマシや赤虫が住む、透明度ゼロに近し。

②初代部長 岩石先生

私財を投じプール造りを推進。くず湯を自費供給、資産家の出

二代目 確井先生

三代目 大津山先生

耳が遠いが悪口言うと言と打たれたり、ツンさんの渾名で愛された

長期に亘る名部長

以下、今村先生、橋本先生、緒方先生と続いた。

③プールの無い頃は川で泳ぎ試合には大敗。

大正〳昭和初期は矢部川の朝鮮松原の井堰のかみ手に棒杭、板仕切りの仮設的水泳場やら高畑のドロ橋〳欄干橋(太鼓橋) 間の川で練習。

④先輩スター列伝

淵上純治氏(中44回)

日米対抗戦出場(大濠プール)

水泳一家4人兄弟の二男、高畑出身

S10年10月ベルリンオリンピック予選会にも出場。自由形千五百米、八

## 柳川河童の誕生話

幡製鉄  
山本恭之介氏(中45回)  
背泳、早大水泳部で活躍。細工町出身  
日米対抗戦出場  
待鳥啓三氏(中55回)  
第一回S21年宝塚プール国体百米背泳優勝 枝光出身  
中島雅好氏(併中1回)  
S24年高校選手権百米、五十米背泳優勝 藤吉出身

柳川町旭町の大松下あめ本舗の四つ角の所に住んでいたので、宮地嶽神社の前の川や、川口製材所と若力旅館に架かる思案橋、次には高畑公園正面の欄干橋とその上のドロ橋や最も深くてカッパにひっぱられると噂のあった椿原町と新町の境にある水門へと行動範囲を拡げて行き、橋の上からゴンボ入り(足から入水)で飛び込みが出来てやっとな一人前のガキと認められたものです。遊びながら泳げるようになり毎日、夏ともなれば唇が紫色になるまで皆さんと泳ぎました。マコモの根つこの先の白い茎芽はほの甘くサクサクとした食感があって、引っこ抜いては食べた想い出が切なく懐かしい。昔の柳川は川や川魚、川辺の風景が子供達を温かく育みました。プールは伝習館にしか無くて、水泳部に入った誰しもが矢部川水系の川や掘割りで藻やアシ、コモを自然の友として泳ぎを覚え、伝習館に入学して、はじめてプールで泳ぐという極

めて自由なのんびりした環境のもとにスリーマーの雛が誕生した時代でした。

高松宮杯(中央)と優勝旗



西部大会 優勝盾 高松宮杯



3年生  
緒方先生、横田  
酒井、後藤  
石橋、一郡  
待鳥先生、大橋



## 編集追記

伝習館がスポーツで高校日本一になったのは水泳部(昭和26年)と女子陸上競技部(昭和28年)の二つと伝わっています。今回、水泳部の優勝メンバーの一人である酒井清行氏が書かれた回想録(会報1号)を再録しました。今年に延期を経ての東京五輪イヤーですが、水泳部は2人のオリンピック選手を輩出しています。古賀学(高5、メルボルン五輪〳2000自由形・準決勝進出)、開田幸一(高8、ローマ五輪〳800リレー・銅メダル)のお二人です。高校日本一、五輪出場は伝習館200年の歴史の中でも稀有なことで、快挙といえます。水泳部大先輩の功績を称え、酒井氏、古賀氏らの全国制覇への奮闘を再度振り返ることにした次第です。(高21・北島正常)

# ニホンウナギ稚魚の飼育環境における クスノキ落葉の役割と 感染症について考える

福岡県立伝習館高等学校 自然科学部顧問 木庭慎治 (高35回生)

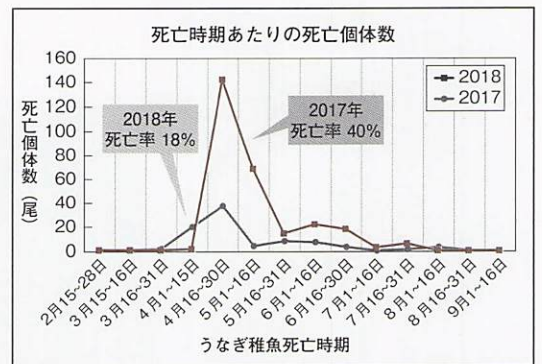
はじめに

伝習館高校では2014年にIUCNからニホンウナギが絶滅危惧IB類に指定されたことを機にニホンウナギの保護を目的としたニホンウナギの特別採捕と飼育中の生態実験、および標識放流を始めた。21cm以下のニホンウナギの採捕は福岡県内水面漁業調整規則で禁止されているために九州大学農学部望岡典隆先生に特別採捕を含めて指導していただいた。特別採捕したシラスウナギは、0.5g以上に成長したらすべて柳川掘割に放流した。

飼育中の生態実験(落葉使った死亡率減少について)

私たちが特別採捕したシラスウナギは、実験室の60cm水槽で水温を25℃程度に保ち冷凍アカムシを与えて飼育した。大切に飼育しているにもかかわらず、3階の実験室で飼育しているために水替えを十分できないことが理由で多くの個体を感染症によって死なせてしまった。その結果、2017年までは死亡率が約40%であった。ところが、2018年4月に水槽に落葉を入れると死亡率が減少することを発見した(右図)。

2019年には飼育当初から落葉を入れてシラスウナギを飼育した結果、死亡率が0.7%まで下がり、しかも感染症に罹ったウナギ稚魚が1尾もいなかった。また、2019年はウナギ水槽の水替えを1度も行わないで、蒸発して減った水を補充しただけであった。この落葉の効果がウナギに与えた影響を明らかにするた



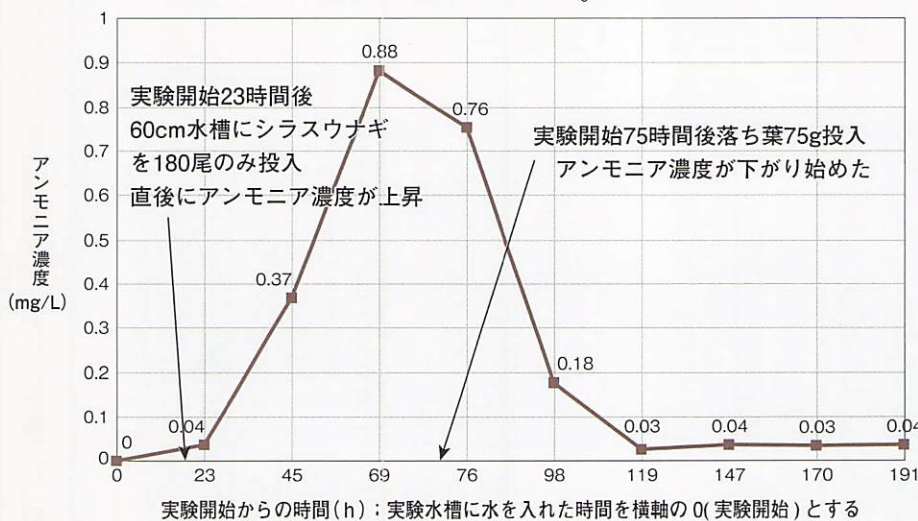
めに、AQUALYTIC社製AL800分光光度計による水質分析を行った。

分光光度計を用いた水質分析から死亡率減少の要因を推定する

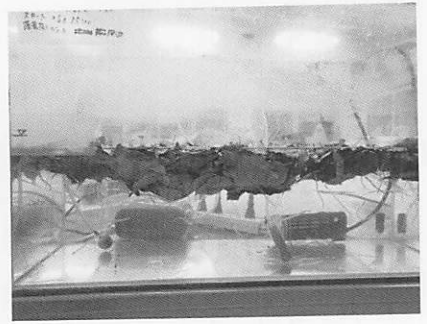
魚類の空素排出物はアンモニアであり、アンモニアは有害であるためにウナギ稚魚の成長と健康に影響を与えていることが考えられる。従って、落葉を入れることでアンモニア濃度が低下するか調べた。また、アンモニア濃度以外に導電率(EC)とpHを測定した。

実験に使ったシラスウナギは2月23日~25日に特別採捕した180尾である。水槽に水を入れた時間から実験を開始して約200時間後までアンモニア濃度を測定した。実験開始は2月25日16時であ

水質測定実験結果 (NH<sub>3</sub> MG/L)



る。実験開始から23時間後にシラスウナギを180尾投入した。後実験開始75時間後にクスノキの落葉を75g投入した。落葉を入れる前はアンモニア濃度が0.88mg/Lであったが、76時間後、つまり落葉投入1時間後には0.76mg/Lまでアンモニア濃度が低下した。その2日後には0.03になり、その後0.03~0.04mg/Lで安定した。同様にクスノキの落葉を入れた水槽と



落葉を入れない水槽でアンモニア濃度の違いを測定するために前述の実験と異なる方法で3月7日に実験水槽を設定した。落葉75gと

シラスウナギ50尾を入れた実験水槽3セット(A~C)とシラスウナギ50尾のみを入れた実験水槽3セット(D~F)、落葉75gのみを入れた対照実験(G)、合計7つの実験水槽を準備した。A~Fに冷凍アカムシを3gずつ与え、水温を23℃~25℃に設定した。1週間後の3月13日にアンモニア濃度を測定した。

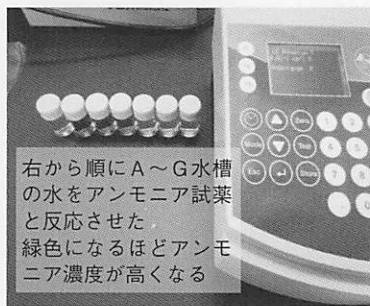
A~Cの落葉を入れた水槽ではアンモニア濃度は0.03mg/Lで、シラスウナギのみを入れたD~Fの水槽では0.77~0.89mg/Lであった。落葉のみの水槽ではUnderrengeであった。このことから、落葉を入れるとシラスウナギが排出したアンモニア濃度が低下することが明らかになった。では、どのような仕組みでアンモニア濃度が下がるのか、クスノキの落葉に付着した細菌の働きでアンモニアを栄養塩に酸化してアンモニア濃度が低下したのだろうか。自然界にはこのように生物が排出した有害な物質を他の物質に変えるシステムが準備されていると考えている。

次に、実験開始から2週間後の3月19日にアンモニア濃度、pH、導電率を測定した。その結果を次の表に示す。測定前にはD~F水槽でアンモニア濃度が相当上がっていることが予想されたが、Dでは0.14、Eでは0.15、Fでは0.37と予想よりも遙かにアンモニア濃度が低かった。とくに、Fでは3月20日に再度アンモニア濃度を測定すると0.04まで低下しており、落葉を入れた水槽とほとんど変わらない値を示した。経路上水質が悪化するとウナギの活動が低下し、立ち泳ぎをするようになる。すべての実験水槽では立ち泳ぎをするウナギが見られなかったことで、実験期間中実験水槽でウナギの健康状態も良好であると判断した。

では、どのような理由でアンモニア濃度が低下したのか、上左の写真(3月19日撮影)を見るとA~Cでは緑色になっていないのにD~Fでは水槽の水が緑色になっている。では、緑色の水槽の正体は、上右の写真のケイ藻類や植物性プランクトンが増殖していたからである。現時点では確証に至っていないが、どこでも見られるような植物性プランクトンの増殖という自然の仕組みが有害物質の減少に関わっていることになる。これから実験を重ねてクスノキの落葉と植物性プランクトンの働きで水槽内の環境が整えられる証拠を生徒と探っていきたいと考えている。

では、なぜクスノキの落葉を入れると感染症に罹らなくなるのか

私が、なぜクスノキにこだわっている



右が分光光度計AL800, 左は試薬



実験開始直後の7つの実験水槽  
A~Cがウナギと落葉を入れた水槽  
落葉を入れた水槽もまだ透明である



実験開始より7日経過した実験水槽  
落葉を入れた水槽は茶色く濁っている  
この直後にアンモニア濃度を測定した

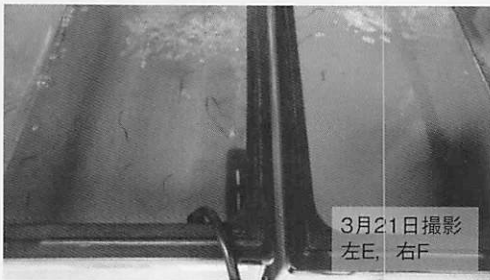
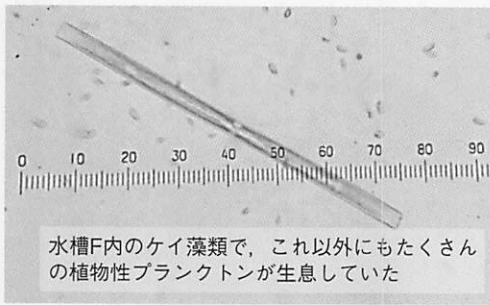
水質計測実験 NH<sub>3</sub>の計測結果 (実感開始2週間)

日付	時間	pH						
		シラスウナギ50尾+落葉75g			シラスウナギ50尾			落葉75g
		A	B	C	D	E	F	G
2020/3/19	11:00	7.8	7.9	7.8	8.2	8.3	8.5	7.8
		EC[μS]						
		シラスウナギ50尾+落葉75g			シラスウナギ50尾			落葉75g
		326	329	386	412	455	516	447
		NH <sub>3</sub> [mg/L]						
シラスウナギ50尾+落葉75g			シラスウナギ50尾			落葉75g		
0.03	0.03	0.03	0.77	0.87	0.89	underrenge		

水質測定実験 NH<sub>3</sub>の計測結果

日付	時間	pH						
		ウナギ50尾+落葉75g			ウナギ50尾			落葉75g
		A	B	C	D	E	F	G
2020/3/13	14:00	7.7	7.7	7.8	8.1	8.0	8.2	7.6
		EC [μS]						
		ウナギ50尾+落葉75g			ウナギ50尾			落葉75g
		265	300	353	377	412	478	425
		NH <sub>3</sub> [mg/L]						
ウナギ50尾+落葉75g			ウナギ50尾			落葉75g		
0.03	0.03	0.03	0.77	0.87	0.89	underrenge		

のか、それは、福岡県みやま市の江戸時代から続く内野樟脳で聞いた樟脳の効能を思い出したからだ。江戸時代から内野樟脳では船小屋のクスノキの葉や枝を集めて蒸気で蒸して樟脳を作っていたという。樟脳はオランダ語でカンフルという。死にそうなときでも元気にさせることを「カンフル注射を打つ」などと表現することがあるが、カンフルはかつて強心剤としても使用されたことがあったという。現在でも、衣類の防虫剤としての用途のほか、血行促進作用や鎮痛作用、消炎作用、鎮痒作用、清涼感をあたえる作用などがあるために、主にかゆみ止め、リップクリーム、湿布薬など外用医薬品の成分として使用されている。また、クスノキの葉を入れると水槽水が茶色く変色することからカテキンなども含まれることが予測される。このようなクスノキの葉に含まれる成分がウナギの感



染症発症を抑制している可能性がある。そして、2014年頃行っていた地元のお年寄りの聞き取り取材で、有明海の高養殖の近代化に尽力された平河政行さんの話をヒントにした。平河さんは昭和40年代に熊本県水産試験所に勤務されていた太田扶桑男先生から「海苔の牡蠣殻培養の時に山の腐葉土を濾過した液を入れると病気に罹らない強い海苔ができる」という話を聞き、腐葉土の濾過液を使い、感染症に罹らない海苔の種を作られた。私たちにいろんな話をしていただいた、たくさんの先人に感謝している。温故知新、先人が実践され、考えられたことが社会を変えるかもしれないと思っている。

20世紀の社会経済の発展によって生み出されたツケを、21世紀の社会の枠組みをデザインする若い世代が払わなくてはならなくなってきたが、昔から伝わる山の民、里の民、海の民が先祖から受け継いだ自然と共生して生活していた時代の知恵をもう一度拾い集めて社会の諸問題を解決する糸口にしなければならぬと考えている。現在直面した新型コロナウイルスの感染拡大をいかにして封じ込めるかという問題も、案外自然の中の「も」の「と」の間の関係性の中に埋もれた何かからヒントを得て、科学の力でその利用法を見いだすという作業をすることで根本的な解決策が見つかるのではと考えている。新型コロナウイルスや、SARS（サーズ）やMERS（メーズ）などの新型コロナウイルスの誕生も人間生活がウイルスとの新しい関係性を作ったことよって、人類が今まで経験しなかったような新しいウイルスが人間の細胞に侵入するための鍵を持ったこと（突然変異）によって引き起こされたものだ。鳥インフルエンザウイルスは鳥類の細胞に侵入する鍵を持つが、普通は人間の細胞に侵入する鍵を持たないので人の細胞には感染できないことが知られている。

このような理由で、例えば、地球では温帯域に人間の都市が集中しているが、地球の気候が変化してそれまでいなかった動物が侵入するとその動物と共生していたウイルスが人と接触する機会が増えることになる。このことが、本来人に感染できなかったウイルスが人に感染することができるようになるような突然変異を誘発したのではないか。つまり、気候変動によってウイルスと人の新しい関係性が生じたことが最近の新型コロナウイルス出現ラッシュの原因となったのではないかと

考えている。九州では照葉樹林を代表する常緑樹のクスノキも3月最初に葉を入れ替え、赤く紅葉した古い葉を野や掘割に散らす。言い過ぎかもしれないが、このクスノキの落葉は野原に草木が芽吹き、虫が活動を始める前にその場を生き物が生きることができるようになる作用があるのではないかと考えている。私たちは、自然が本来持っている関係性をちよつとだけお借りしてウナギの飼育下における感染症の予防に应用しただけのことである。ウイルス感染に関して他の見方もある。本来ウイルスは宿主（ヒト）が動けなくなるほど症状を悪化させると他の宿主に感染する前に宿主の免疫で無力化される場合が多い。と言うことは、強毒性ウイルスの伝播速度は終息圧よりも小さくなることが予想できる。したがって、新型コロナウイルスのうち強毒性の株（コロナウイルスが突然変異して現れた多くのウイルス）ほど、早く地球から消滅する可能性が大きいことになる。このことを考えても今回世界的に拡大した新型コロナウイルスの感染禍も時間の経過とともに終息に向かうはずである。現在市中で存在する新型コロナウイルスの強毒性ウイルスは、弱毒性ウイルスと比較して存在比が小さいものであると考えている。しかし、ヒトによりコロナウイルスが感染したときの人体の応答が多様であることを考えると、ヒトにより死に至ることも考えられる。今は我慢の時。しっかりと感染に留意して社会活動を続けていきたいと思う。

考えている。九州では照葉樹林を代表する常緑樹のクスノキも3月最初に葉を入れ替え、赤く紅葉した古い葉を野や掘割に散らす。言い過ぎかもしれないが、このクスノキの落葉は野原に草木が芽吹き、虫が活動を始める前にその場を生き物が生きることができるようになる作用があるのではないかと考えている。私たちは、自然が本来持っている関係性をちよつとだけお借りしてウナギの飼育下における感染症の予防に应用しただけのことである。ウイルス感染に関して他の見方もある。本来ウイルスは宿主（ヒト）が動けなくなるほど症状を悪化させると他の宿主に感染する前に宿主の免疫で無力化される場合が多い。と言うことは、強毒性ウイルスの伝播速度は終息圧よりも小さくなることが予想できる。したがって、新型コロナウイルスのうち強毒性の株（コロナウイルスが突然変異して現れた多くのウイルス）ほど、早く地球から消滅する可能性が大きいことになる。このことを考えても今回世界的に拡大した新型コロナウイルスの感染禍も時間の経過とともに終息に向かうはずである。現在市中で存在する新型コロナウイルスの強毒性ウイルスは、弱毒性ウイルスと比較して存在比が小さいものであると考えている。しかし、ヒトによりコロナウイルスが感染したときの人体の応答が多様であることを考えると、ヒトにより死に至ることも考えられる。今は我慢の時。しっかりと感染に留意して社会活動を続けていきたいと思う。

# 先輩・後輩より

## 伝習館、爆撃さる！ 米軍、母校空襲の記憶

高2 吉川 良平

これは終戦を目の前にしたときの忘れられない出来事である。昭和20年8月、私は中学伝習館の裏門の近くにあった親族の家を借りて住んでいた。

午後からは家で六尺フンドシを締め、伝習館構内にある25メートルプールで泳ぎ、遊んでいた。すると休日のこの日、珍しく館長、教職員が現れ、「カップ全員上げ！」の号令が掛かり、「今から農業倉庫の片づけをするので、全員手伝ってくれ」とのことだった。

皆で農業倉庫のものを大方外に持ち出したところ、警戒警報のサイレンが響いた。米軍が大刀洗の飛行場を爆撃しているらしい。間もなく校庭の上空に米軍機が現れた。当時、空襲が博多の街を焼き、大牟田も空襲され、柳川もいずれば来るだろうと噂されていた。

その時である。天地をひっくり返すような地響きが起こり、皆地面につき伏せた。この時、ガラスの割れた破片が腹に刺さり、「館長先生、やられた！」という古賀寛ちゃんの声は聞こえたが、次の

爆発を恐れてか、誰も動こうとしない。

そのうち私の後方で動きが始まった。3年生の吉田さんは爆弾の破片が肩から腕を貫通し、血を流し、抱きかかえられている。私は家から200メートル離れた吉田宅に事故の連絡に走るようになった。

とりあえず衣服をつけるため家に帰ってみると、畳は吹き上げ、障子・フスマは飛び散り、見るも無残な状況である。ズボンとシャツを取り出し身に着け、立花家元家老・吉田家に事故の連絡に走るようになった。

今から考えると米軍機の爆撃目標は運動会で教練の成果を示すのに使う、リヤカーで引くタンク（戦車）の模型のようで、もし爆撃が南側（女学校側）からでなく北側（昭和堂書店）上空から落とされていたら、館長、教職員（もちろん小生も含め）甚大な被害を受けることになったであろう。

8月15日（終戦記念日）が近づくと、当時のことが思い出され、被害が最小限に終わったことに感謝している。

※編集追記 伝習館の空襲については「75周年記念誌」に甲木昭氏が次のように記しています。

「昭和20年8月7日午前11時ころ、B29お

よび小型戦闘機約40機が大牟田工場地帯を銃・爆撃した。この第4回目の大牟田空襲で、工場地帯は大きな被害を受け、三池染料で同期生4名、東洋高圧大牟田工業所で1期下の伝習館生13名の犠牲者を出した。

…そのころ、伝習館にも米軍機から爆弾が落とされた。運動場の南西の隅に、直径5メートルくらいのすり鉢状の穴があき、破片で煉瓦塀にも穴が開いた。幸い死者はなかったが、たまたまプールで泳いでいたという同期生に破片が当たり、手首を不自由にしてしまったのである」

## 柳川徒然草（2）

高4 小野硯一郎

その二・終戦前後の柳川事情

・昭和九年生まれの私は昭和十六年、その年から呼称が変わった国民学校にその第一回生として入学、同年十二月に大東亜戦争（太平洋戦争）が始まり、戦時体制が強まった。

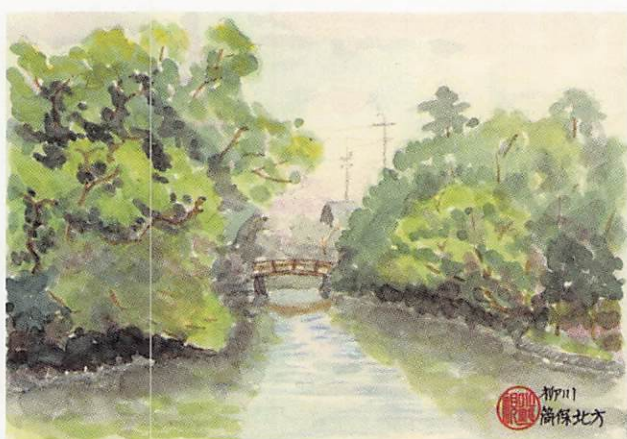
・我が国は当初の一二年は中国・南洋・シンガポール方面で戦果を挙げていたが、米国が本腰を入れ始めて、次第に戦況不利となり、昭和十九年になると日本は各地で負け始め、撤退か玉砕を余儀なくなり、さらに米軍による本土爆撃が始まり、柳川でも伝習館校庭に爆弾が一発落ち、遂に昭和二十年八月の広島・長崎への原爆投下で敗戦となった。

早速マッカーサー元帥を総司令官とし

た占領軍が我が国に入ってきた。

昭和一桁生まれの我々は、それまでたつぷり軍国主義教育を施されコチコチの軍国少年・少女が、一転民主主義の教育へと回れ右で、戸惑ったものである。

・そして昭和二十二年、それまでの入試制度の中学から、義務教育の新制中学となった。これまでの国民学校も小学校の呼称に戻り、我々はたった六年間の国民学校の最終卒業生となり、純粹の国民学校生となった。



2018年6月 簡保より北方、土橋方面

・さて、終戦一二年前から、柳川地区から東京や大阪などの都会に出ていた人たちの子供たちが、祖父母のいる故郷に縁故疎開してきて、我々の城内国民学校も急に生徒数が倍増し、元々我が年次は新入時男女五十三人一組であったのが、

終戦前になると八十人近くとなり、教室は机がくつつきあって満杯、間の通路もなく机の上を渡って自分の席に行かねばならない始末。到頭四・五・六年は音楽室や理科室などを普通の教室にして男女別の組が作られた。

しかし、こうして東京や横浜や大阪などからやって来た新しい友人は、都会の知識などをもたらし、田舎育ちの我々に好奇と新智識を授けてくれた。

戦後の柳川では、市内近郊のお祭りの時、相浦舞踊団という歌謡曲にあわせたレビュウが人気を博して、大勢の見物人が詰めかけていた。

・我が家は城内村に住んでいたが、新制中学の校舎の事で、村内が二つに割れ、村会が解散、新しい選挙が行われた。それは、旧制中学校と旧制女学校が合併して新制高等学校が出来るのだから、何も金を掛けて別に校舎を作らなくても女学校の校舎を新中学の校舎にすべきだ、いや新しく作るべきだ、との論争である。

選挙の結果城内村は女学校々舎利用派が勝ったが、新しく中学を作る柳河・城内・東宮永学校組合では、結局新しく作る事になり、校舎が出来るまで、男の子は旧制中学・つまり伝習館校舎に、女の子は旧制女学校々舎に間借りをする事になった。

新制中学は、この様に急造で、校舎もこんな具合なら、先生達も今迄小学校の先生が中学の先生になった人が殆どで、特にそれ迄敵国語として禁止されていた英語の先生などは惨憺たるものであつ

た。当時の先生には申し訳ないが、事実上は事実、先生方のご苦労が思われる。

・これに遡り、昭和二十一年十一月新しい日本国憲法が公布、翌二十二年五月施行となった。明治憲法に対して所謂民主憲法であり、元々自由人の多かつた柳川地方では、民主主義は大歓迎、二十二年五月「憲法施行大行列」が催された。今まで抑圧されていた柳川の人達に加わって、都会から疎開して来ていた戦前の良き時代を知っている多くの人達が、趣向を凝らした仮装行列など見ものであつた。中でも、新井磯香さんの半裸のフラダンス姿は多くの柳川人の度肝を抜いたものである。

・昭和二十七年、新憲法により我が国の華族制度が廃止され柳川の立花伯爵家も爵位がなくなり、程なく東京から柳川に引揚げて来られた。そして、別邸お花に居住され、この後此処で「料亭お花」を始められた。

当時の当主和雄様は、土佐藩の島村男爵家から立花家の文子様の婿養子に来ておられ、中々教養の高い方で、戦後の柳川の復興には色んなアイデアを出され、貢献された。

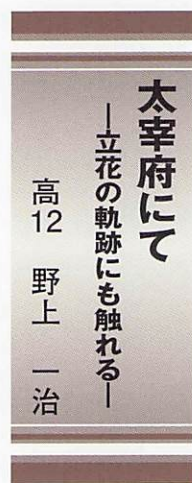
・当時、「柳川文化クラブ」なるものがあつて、本来の柳川人、戦争で引揚げて来られたまま柳川に残った人たち、画家、音楽家、文人など文化的素養の高い人たちの「クラブ」であつた。この人たちが、戦後の柳川の復興に大いに貢献されている事は余り知られていない。立花和雄様もその一人である。このクラブは

柳川を、郷土出身の北原白秋先生の生地に相応しい文化都市そして観光都市にしたいと高い理想を持っていた。

今でいう「どんこ舟」（発足当初は河童舟と言っていた）の発足もこれらの皆さんのアイデアである。

また戦後間もなく城内村では、劇団「パンテオン座」が出来、お城跡の城内村公会堂で「卑弥呼」などが公演され、好評を博した。まだ書き足りない事が多いが今回はこれまで。

（参考図書・秋吉茂著「にっぽん歴史秘話」二五六頁、平成元年 河出文庫）



はじめに

私は2005年に竣工した太宰府の九州国立博物館の建設に絡んだ、という言い方もおこがましい。要は、屋根に使われたチタンの製造に関わっていただけである。

その2年前、東京で開かれた福岡県知事主催の懇談会で、当時の麻生知事に九州国立博物館の屋根にチタンを使用することになったことをお話しする機会があつた。竣工後、県庁にお訪ねした際話題になったことを思い出す。

2018年11月、福岡に行ったついでに同博物館を参観し（「京都醍醐寺展」が開かれていた）、久し振りに裏の山側



九州国立博物館

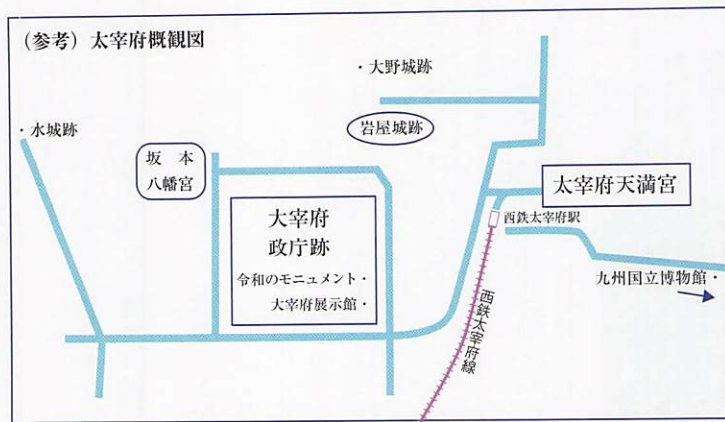
から、独特の流線型をした青いチタン屋根を眺めた。

すぐ後、新しい元号の「令和」が発表され、太宰府の地に由来することが明らかにされた。翌2019年3月に福岡に行く機会があり、改めて太宰府を周った。そして、大宰府政庁のこと、「大宰府」と「太宰府」は別であること等初めて正しく認識した。（ちなみに、2020年年初の東京同窓会報に掲載されていた、高5・下河秀行先輩のご寄稿文「毎年の母校訪問と令和ゆかりの地」では、「大」と「太」がはっきり書き分けてあつた。恥ずかしながら、自分の浅薄な思い込みに最近気が付いた次第である。）

また、太宰府近郊に残る岩屋城跡など、柳川・立花家に関わる史跡も気に掛



り、併せて、「柳川」と「柳河」の使い分けにも関心が及んだ。  
 それやこれや、私の不勉強を吐露しつつ、本稿では、太宰府に絡むいくつかの話題を繋ぐ。



「大宰府」と「太宰府」  
 さて、誰にも「思い込み」はある。私にとって「ダザイフ」がそうであった。  
 上述のような行き掛りで、2019年3月、太宰府を訪ねた。新元号「令和」由来の地としての「ダザイフ」を太宰府天満宮の「太宰府」と思い込み、西鉄の太宰府駅前を天満宮参道に向かいながら、案内所に「政庁跡」の位置を確かめた。



大宰府政庁跡

「政庁跡は逆ですよ。バスで20分かかります」と言われ、一瞬きよとん。

かくして、その時初めて、「古都大宰府」と「太宰府天満宮」は別であること、しかも「ダ」の字が違うことを知った。行政上の地名「太宰府」(従って、駅名の「太宰府」、太宰府市、「太宰府天満宮」。いずれも単純に、「太宰府」と思っていた。

ところが、政庁は、「大宰府政庁」であった。政庁跡の脇にある展示館においてあった来館者用のパンフレットに、太宰府で、「大宰府」を「太宰府」と混同しないよう添えられていた。

「大宰府」は律令制下の役所を指す。7世紀後半に、九州筑前国に設置された地方行政機関。玄界灘沿岸は、古墳時代からアジア大陸との交流の窓口であったし、飛鳥、奈良時代以降、畿内を地盤とする中央政権が、外交や朝鮮半島への軍事行動の要衝として、大宰府に出先機関



太宰府天満宮

を設置したものであった。

大宰府は、平城京や平安京と同じく条坊制を敷き、水城や大野城に守られた防衛都市でもあった。中心部には政庁の建物が建ち並び、1000人を超える官人が働いていたとされる。政庁跡は当時を偲ばせる。

一方、太宰府天満宮は、菅原道真を祭神として祀る天満宮。京都の北野天満宮とともに、全国天満宮の総本社とされている。

道真は、901年、藤原時平の陰謀でこの地に左遷され、903年に亡くなった。

道真が左遷されたのは、地位的には、政庁の「大宰の帥」、それも員外の帥であったらしい。何であれその頃は、政庁

自体が衰退しており、大した地位ではなかった。後に道真が名誉を回復、その墓所の上に造営された安楽寺天満宮が「太宰府天満宮」となり、道真はその祭神となった。

現在は、「大宰府」と「太宰府」は明確に使い分けられているが、遑つてみるに、「大」と「太」の使い分けは必ずしも定かでなく、資料的にも混同がないわけではない。それはともかく、時間軸的に道真を介するようには、「大宰府」と「太宰府」が交差して見え、興味深い。行政名としては、太宰府天満宮周辺はかつては御笠郡宰府村といい、明治14年に太宰府村に改称されたのが始まりらしい。

### 「令和」ゆかりの地

「令和」の典拠は、万葉集に収められた「梅花の花三十二首序文」にある。

727年に、大宰府の帥(長官)として赴任した大伴旅人が、730年(天平2年)の正月に、自身の邸宅に大宰府や諸国の役人を招いて開いた「梅花の宴」で読まれた32首の冒頭にある序文に当たる部分である。旅人の邸宅は、坂本八幡宮の辺りにあったらしく、「梅花の宴」の地、「令和」ゆかりの地として注目され、政庁跡一帯の重要な一角として観光客も急増した。

ところで、道真は学問の神様として祀られているが、「大宰府」は「点が取れる」が「太宰府」では「点が取れない」というジョークもあるとか。坂本八幡宮への合格祈願も増えたと聞く。

## 悠久の地とチタン

冒頭、九州国立博物館の屋根がチタンで造られていることに触れた。チタンは、「軽くて」、「強く」、「錆びない」という金属特性を備えており、用途の1つが、建築・土木部門での構造物である。神社仏閣や博物館、スポーツセンターの屋根等に多く使われる。近年の代表例で言えば、東京浅草・浅草寺の、本堂、五重塔、宝蔵門の屋根がチタンに替った。近く、増上寺の大殿の屋根もチタンに替わる模様である。

太宰府では、天満宮の敷地の一角に建てられた国立博物館の屋根がチタン製である。

そしてまた、新元号「令和」を記念するモニュメントが、チタン製で、政庁跡の一角にある大宰府展示館の脇に建てられた。これは、太宰府市が中心になり、約600人の個人、団体の寄付によるふるさと納税(約300万円)を活用、「時の旅人プロジェクト」として建てられたという。

太宰府の一隅の山林にかかって、国立博物館の屋根が青く輝き、片や、政庁跡の一角にあって、令和のモニュメントが古代を望み返す姿は美しい。

## 太宰府の悠



坂本八幡宮



チタン製「令和」モニュメント

久に見合うチタンの出逢いに興味は尽きない。

九州国立博物館の基本理念は、「アジアとの交流史を通じて、日本文化の形成を考え直す」とされている。会場の設営や展示の企画にも、常にそういう意識から工夫が凝らされている。

## 立花家の系譜と太宰府

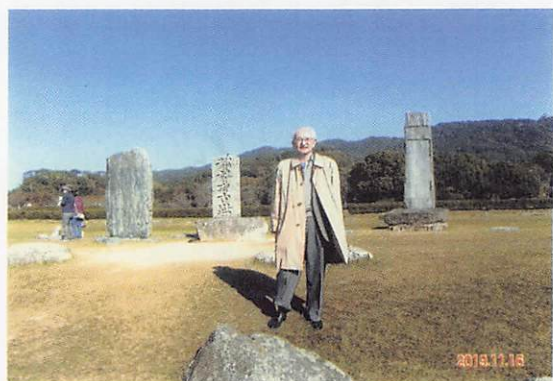
本稿を無理に柳川に紐付けするつもりはない。ただ、今回太宰府近郊の地図を何度も拡げていて、岩屋城跡と高橋紹運の墓が目についた。

立花宗茂、閻千代みちよが、「無双の花」(葉室麟)や「まりしてん閻千代姫」(山本兼一)等で近年また注目を浴び、NHK大河ドラマの候補に上がったこともあって、ついそれに注意を惹かれた。

岩屋城は、豊後・大友家の血筋を引く閻千代、そして宗茂にとっても重要な意



「鳴呼壯烈岩屋城跡」石碑



都督府跡に立つ

味を持つ。殊に、宗茂の父、高橋紹運が、島津との戦いに敗れた岩屋城の戦いは史実に濃く残っている。古代都市太宰府や太宰府天満宮を追いながら、それも気に掛っていたが、コロナ禍で九州行きは延期続き。結局実際に訪れる機会のないまま本稿を締めざるを得なかった。

## 「柳河」と「柳川」

「大宰府」と「太宰府」の使い分けを知って、「柳河」と「柳川」の区別も知っておきたくなった。私は瀬高の出身であり、伝習館にも3年間自転車を通ったもので、正直、柳川の理解は浅かった。

「柳河」と「柳川」の使い分けがあるのかどうかも漠然としたままだった。そこで、この機会に確認しようと思って、友人に聞いたり、多少資料も開いて見たりした。

「ヤナガワ」を字で辿れば、鎌倉後期の

資料に、「梁川村」と出てくるのが最初らしい。その後「柳川」も見られるも、江戸時代元禄以降は「柳河」になった模様。それが昭和26年に、柳河、沖の端等1町5村が合併して「柳川町」になり、翌27年の市制施行で「柳川市」になった。近年、三橋町や大和町も加わって現在に至っている。

実際の使われ方を辿ってみると、立花藩は「柳河」、北原白秋の生い立ちや作品に出てくるのも専ら「柳河」。「柳河小学校」も然りであった。

今も、一部の固有名詞は「柳河」を使っているし、習慣的に「柳河」が使われることも珍しくないが、今は、「柳川」が一応正しい。

## 最後に

立花宗茂、閻千代を扱う企画が、NHK大河ドラマの候補になったこともあって、最近改めて、「無双の花」や「まりしてん閻千代姫」を読み直した。

一方で、大分の友人から、大友宗麟を中心とするドラマ化の願望があること、その大友家の血筋を引く閻千代姫を通して柳川・立花藩と話が繋がるねと言われて、成程と思ったりもした。さらに、偶々、知人の歴史エッセイ「摩利支天・閻千代見参る」を読む機会も重なった。

新元号「令和」と大宰府、それに、チタンと太宰府、そして、岩屋城と大友・立花の繋がりと、観光地図を観ながら、時空を気ままに俯瞰した。脈絡があると言えは、ないと言えは、ない。ご笑読いただければ幸いである。

## 杵屋勝国さん 人間国宝の祝賀会開催

高14 佐々木 優  
御花にて



令和元年の十一月十九日、御花において重要無形文化財の保持者（人間国宝）に認定された杵屋勝国（本名 牟田口照国）さんの祝賀会が開催されました。伝習館の同級生から人間国宝が誕生したことは、自慢であり誇りでもあります。祝賀会は、杵屋勝国さんの母校であ

る、瀬高中学校の同級生の方々が企画されたのですが、杵屋勝国さんが、伝習館に一年間在学したことから、伝習館第十四回生にもお誘いがあり、二十五名が出席しました。

出席した同級生は、約六十年前の杵屋勝国さんとの思い出をつい先日の出来事であるかのように語り合い、時の経つのも忘れ大変盛り上がったところです。

杵屋勝国さんは、長身の物静かで聡明な少年であったと記憶しており、伝習館在学中には、既に三味線の腕前がプロ級であったにも関わらず、三味線の腕前を自慢することはなく、日常の会話の中で三味線の話が出たことは一度もありませんでした。

伝習館一年生を修了後、東京の高校に転校されましたが、三味線の道を究めるための上京と知ったのは、伝習館を卒業後十数年経った頃でした。

その後、歌舞伎座等で活躍されていると、風の便りで聞き及んでいましたが、この度の人間国宝認定は、大変輝かしい栄誉であると思います。

祝賀会の開会に先立ち、NHK・Eテレで放送された長唄三味線の演奏模様が会場で上映されましたが、出席された皆さんは熱心に聴き入り感激された様子でした。

当日は、瀬高中学校同級生、伝習館同級生、杵屋勝国さんのお弟子さん及び親戚の百名弱が混在する祝賀会でしたが、この祝賀会で新たな交流が生まれ、友人が増えたことに感謝するとともに大変楽しいひと時を過ごすことができました。

杵屋勝国さんのこれからの益々のご活躍とご健康を祈念してお開きとなりました。

## 第69回大同窓会から 未来へ

高41 下河 敏彦

激動の2019年、新時代の息吹  
2018年の11月中旬に、中学と高校



両方の同級生からメールをもらいました。その内容は、高校41回生が2019年9月15日の第69回大同窓会の幹事学年になる。その内容や段取りを伝えるためにも2019年1月2日に総決起大同窓会を開催するので参加してほしいということでした。これまで41回生はオリンピックキヤーに同期会を開催していましたが、私はあまり参加できていなかったし、大きな目標に向かっていない雰囲気を感じたので出席と返事をしました。1月2日当日は、100名を超える同級生が参加していました。

会場のスライドで大同窓会の流れが説明されていた時は、皆熱心に聞き入っていました。30年ぶりに再会する同級生、同じクラスになったことのない初めて会う同級生も含め、日付をまたいで3次会まで盛り上がりま



2019年1月2日総決起大同窓会



伝習館高校第42代館長 平塚健士先生のご挨拶



2019年5月16日 東京同窓会親睦会

した。  
時は平成最後の正月、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」令和の到来を先取りしているような、素晴らしい雰囲気でした。

### 東京同窓会親睦会

会報第20号に北島先輩が寄稿されたように、令和元年5月26日の東京同窓会親睦会は大変盛り上がりしました。第69回伝習館同窓会総会実行委員長・中村雄一郎君の「元氣発信!! 伝習館魂」のスローガンは、東京と柳川の空間と高校卒業後30年の時間を一気に締め、団結しました。そして、参加された方々から多大なるご支援も頂戴しました。

### いよいよ本番、9月15日

第69回伝習館同窓会総会は、雲一つない快晴に恵まれました。残暑と熱気と様々な方面からのご厚意、いろいろな意味で、あつい一日が始まりました。

幹事学年である41回生は、実行委員のメンバーを中心に朝早くから会場の御花に集まりました。気温は上がる一方で、まず熱中症対策の飲料を控室や会場の各地に配布することから始めました。午前10時からは全体の打ち合わせ、11時から総会のリハーサル、気温がさらに上がる中、入念な準備を行いました。私は記録写真担当だったので、この準備の状況も次世代に記録しておこうと会場を奔走しました。

午後になるといよいよ本番です。開会の言葉、国歌、校歌斉唱、会長、役員、来賓の方々のご挨拶・祝辞、現役高校生活躍ぶり、伝習館の素晴らしい伝統を感じながらも分刻みの進行、猛暑の中の駐車場はじめ来場者の案内、記念講演を頂く竹田恒泰先生のご案内等、滞りなく進行することができました。

夕方の懇親会では、参加者皆さんの案内のほか、バドガール(オッサン込み)に扮するなどサービスと全体の進行管理、樋口君と森山君によるプロ顔負けの圧巻のステージ進行。特別講演を頂いた竹田恒泰先生も懇親会に参加され、美しい夕暮れから星がちらほら顔を出す時間まで、ともに宴を楽しんでおられたようでした。

こうして、参加者1000人を超える第69回伝習館同窓会総会は、立花寛茂伝習館同窓会会長から改めて労いの言葉を頂くなど、大盛況・大成功となりました。

幹事学年となった高校41回生の参加者は170名を超えました。

同期会では、昭和に出会い平成を駆け抜けた力で令和初の大役を成し遂げた達成感と新たな友情に包まれました。まさに、のちに流石語となるONE TEAMを先取りしたような雰囲気、のなか、中心となって頑張ってくれた実行委員への花



東贈呈で幕を閉じました。大きな達成感と美しい涙がそこにはありました。この日はみんなにとって、忘れられない人生の大きな財産になったと確信しています。

### 新たなスタート

大同窓会のあと、高校41回生東京支部のメンバーの絆もより深くなりました。10月12日には台風19号に伴う集中豪雨の際も、ラインで安否を連絡しあっていました。10月26日の伝習館東京交流会や忘年会等でも、さらに親睦を深めあいました。同じクラスになったことがない同級生や先輩・後輩の方々とも、会った瞬間



挑戦!伝習館、ツナグ魂



懇親会の様子

から伝習館という共通点を介して、昔話だけでなくこの頃の話にも花が咲き楽しい雰囲気包まれます。花が咲くということは、伝習館という水と土と空気、やわらかな光があつてのことです。

## これからの未来

### コロナ禍のなかで

2020年は思わぬ困難が降りかかっています。新型コロナウイルスの感染拡大です。大切に思う人にこそ会わないといった、前例がなく先の見えない不安感がよどんでいます。東京同窓会総会も延期になりました。

とにかく時間ができてしまいました。私は、この降って湧いた時間に、将来について30年ぶりの濃密さで考えました。30年前は大学受験のための1年浪人中であり競争の中にありましたが、年を重ねたせい今年は少しのどかに思いを巡らせました。そのなかで、同窓会がそうだったように出会いと挑戦を楽しむこと、微力ながら次世代との交流、サポートということを考え始めました。

### 自然科学部（生物部）との交流

3月27日に行われる予定だった伝習館高校生を応援する会（生物部）も、日本水産学会春季大会とともに中止になってしまいました。

学年の変わるこのタイミング



飯江川をニホンウナギの育つ川にするための調査  
[http://denschukan.fku.ed.jp/intro/pub/list.aspx?c\\_id=101&redid=ON&id=561&sely=2020&selm=1&seld=18](http://denschukan.fku.ed.jp/intro/pub/list.aspx?c_id=101&redid=ON&id=561&sely=2020&selm=1&seld=18)



2020年7月4日、飯江川（はえがわ）での稚ウナギ放流

で、陸上競技に例えると位置について用意と腰を上げて集中して将来を見据える高校生にとって、いつスタートのピストルが鳴るかわからないまま時間だけが過ぎていく状況、この困難を何かサポートできないかと、いまでも考えています。

そんな折、伝習館高校HPで生物部の活動の一環である「飯江川をニホンウナギの育つ川にするための調査」という記事を読みました。その内容は、私が学生時代取り組んでいるテーマと共通する点が多かったので、本来3月に議論したかった自然環境や関連する機関・会社などをパワーポイントにまとめ、木庭先生（伝習館高自然科学部顧問）に提供しました。

3月に卒業した方々や現役高校生はまだ困難の最中ですが、きっと新しい変

化に対応し挑戦と出会いを求め頑張っていることでしょう。

さらに元気に強く!! 伝習館魂!

いまこの文章を書いている最中、第70回の節目となる令和2年度伝習館同窓会総会（令和2年9月13日）の時節を迎えています。高校42回生が幹事学年で頑張っており、スローガンは「挑戦!伝習館、ツナグ魂」です。激動の時代にもかかわらず、必ずしも望んだ方向に枝葉を伸ばし、花実を結ぶことができなかったとしても、伝習館高校で過ごした時間は人生の大きな幹となり、困難を乗り越える力を与えてくれるようなスローガンです。

新型コロナウイルスは、様々なことに急に水を差したように見えます。しかし、鋼を水で急冷するとより強靱になる

ように、伝習館魂もより強くなるはずで  
す。次に皆さんと出会うときは、また新  
たに感謝の気持ちで芽生え、楽しい時間  
を過ごすことができると信じています。

— 令和2年9月記



41回生東京支部 忘年会



かわいい家族も集まった東京支部2020新年会  
熱い友情は続く

懐かしいふるさとの味  
(今昔)(その二)

高4 荒井健之輔

「海の恵み」

1) 「くっぞこ」(地物の舌平目、略称「地舌」)

海の美味としてはまず「くっぞこ」に指を屈しなければなるまい。抜群に美味しい魚である。その中でも「煮つけ」が最も美味しい料理法だと思っている。私の小さい頃、柳川では「くっぞこの煮つけ」などとは言わなかった。「おいろつけ」と言った。私の祖母は絶妙の味加減・煮加減で「くっぞこ」の「おいろつけ」を用意してくれた。たまに家に帰ると、健之輔が好きだからと豆腐の味噌汁を添えて煮てくれた。私は舌鼓を打って「うまかのも」と応じた。ところが最近漁獲が激減しているようである。値段もぐんと跳ね上がって、そうそう口にはできるものではないらしい。柳川人にとっては最高の美味であろう。毎年年末に、福岡の妹が送ってくれるが、感謝して有難く美味しく頂いている。

昔、小学生の頃、太平洋戦争の最中、中国山東省の青島に転居したが、青島に住む同郷の人たちへの土産にと、帰国していた父は「くっぞこ」を沢山買ってきて「焼きくっぞこ」を作った。私も手伝った。「くっぞこ」はふるさとの味の代



有明海周辺の海の幸

表だったのである。野菜の煮物の中にこれを入れると、煮物の味が引き立ち、輝きを放つのである。煮ても焼いても美味しい。

かつて仕事で四国へよく行った。香川県の高松の居酒屋で「くっぞこ」にそっくりの舌平目の煮付けがある。早速注文したが、高松ではこの魚を「げた」と言う。味も「くっぞこ」に似ていて美味しい。岡山にもよく行ったが、そちらでも矢張り「げた」という。瀬戸内海でも獲れるのだ。そして柳川よりは安いらしい。「かれい」と同じ程度の魚みただった。味は似ているが、私はやはり「くっぞこ」の方が美味しいと思ったし、軍配を上げる。負けられん。

2) 「はぜくち」(はぜ)

柳川では「はぜ」のことを「はぜくち」と言う。父が時折「はぜくち」を釣って来て、みんなで食べた。当時、我が家では天ぷらやフライなどの揚げ物など、とお目にかかったことはなかった。魚は9割方「おいろつけ(煮付け)」で、あとは焼き物であったと思う。

有明海の「はぜくち」は大きかったように思う。20センチ以上あったのではなからうか。「はぜくち」は「べんぶた(鰯)」も食べなければならぬ。ふっくらと盛り上がったような「べんぶた」は美味しいのだ。

3) 「くろめ」(ほろ)

ほらの少し小さいのを「くろめ」と言った。これも父が釣って来た。私は行ったことはなかったが両開の先の橋本開きあたりで釣って来たものだと思う。これはいつも大きな魚籠に一杯で大漁であった。そういう日は、家ではとても食べきれないので、父の友人やかつての教え子たち(父は昔柳河小学校の教員をやっていた)に配って回るのであった。それはまたいつも、私の役割だった。

ところで「くろめ」の身は柔らかい。そして、これも「おいろつけ」にしたが、申し訳ないがとりわけ美味しいとも思わなかった。中から小さな白の形をしたのが出てくる。我々はこれを「へそ」と呼んだが、これも食べた。仕方なく食べた。「くっぞこ」とはえらい違いであった。

4) 「がね」(かに、渡りがに、がざみのこと)

柳川では「かに」のことを「がね」と言う。一般的に「かに」は種類が多い。

「松葉がに」、「毛がに」、「たらばがに」、「もずくがに」、「沢がに」などなど。しかし、柳川で「がね」といえば「わたりがに、がざみ」のことである。これがまた美味しい。列記した諸々の「かに」に比して、身は繊細できめ細かい。そしてほんのりとした甘みがあり、えも言われず美味しいのである。甲羅の中に秘められたミソが美味しい。高級なものである。

子どもの頃、母の実家の秋祭りに行った折には、大皿に赤く茹で上がった「がね」が山盛りに積み上げられていて、子供心にも嬉しかった。

まず甲羅を外してミソを食べる。汁をすする。甲羅のとがった隅にまで箸を入れて身を掻き出す。「がね」を両手で持って真ん中から2つに割る。一番下の小指(と私たちは言った)のところを箸を入れて割る。ぷっくりとした身が現れる。かぶりつく。何とも言えない至福の瞬間である。美味しい。あと「がね」の足毎に割って身をほじくり出して食べる。両手を使って食べる。粗末な食べ方など出来ない。

この有明海の海の幸の王様は、このところ矢張り漁獲量激減らしい。いやはや寂しいことである。佐賀では「竹崎がに」として大いに宣伝しているが、あちらはそんなに獲れるのだろうか。同じ有明海の「がね」である。熊本の本天草をドライブした折に八代海に面したところで

「かに(わたりがに)」の養殖をやっていた。その食事処で茹でかにの昼食を摂ったが小振りの「がね」であった。やはり「がね」は美味しい。

5) 「あさりげ」(あさり貝)

これは有明海を代表する貝ではなからうか。私の体の一部分は「あさりげ」で形成されたのではなからうか、と思う程よく食べた。食べさせられた。あの頃獲れる量が凄かった。従って安かった、それでよく食卓に上った。春は潮干狩りの季節である。沖の端から船に乗りポンポンとエンジンの音を響かせながら有明海の真ん中に出て船を止める。やがて潮が引いて船は砂地の上に座る。熊手で砂を掘ると「あさりげ」が出てくる。もう潮が満ちるまでは帰られないのだから「あさりげ」を掘り続ける。沢山とれるが飽きてくる。といった具合であった。その頃城内の我が家の前を、続々と潮干狩り婦りの人たちが、自転車の荷台に大きな麻袋一杯の「あさりげ」を積んで、また竹籠に入れて家路につくのだった。そんな光景は今もあるのだろうか。

手押し車を押して「あさりげ」売りの小母さんが来る。一升とは杵に盛れるだけ一杯に盛ったものだった。安い食べ物だからよく食卓に上る。「あさりげ」の塩汁が8人の我が家の夕食の主菜であった。あとは高菜の漬物である。

よく食べるから貝殻が溜まる。それは未舗装の脇道の窪みに捨てて行く。それが時折通る自動車や自転車や歩く人の靴や下駄でバリバリと碎かれて地面に突き

刺さっていく。少しは水はけも良くなり、窪みも埋められるということだったと思う。当時、「あーあ、またあさりげか」と言いながら、仕方なく、また少しは美味しいと思いつながら食べたものだった。今は昔のようにそんなに沢山食べることはない。そんなに安いものでもない。普通味噌汁か塩汁で食べる。あさりの酒蒸しも美味しい。今ではとても美味しい海の幸である。

スパゲッティの「ヴォンゴレ(あさり貝)」も美味しい。イタリア料理では定番となつている「スパゲッティ・アツラ・ヴォンゴレ」である。イタリアによく行ったが何度も食べた。ボローニャのリストランテで「ヴォンゴレ」を注文して「パルメジャーノ(チーズ)を呉れ」と言ったら、「海鮮の料理にはチーズはかけないのだよ」とイタリア人のシェフに言われた。以後、海鮮の料理にはチーズはかけないことにしている。

世界自然遺産のチンクエ・テッレ(イタリア)のモンテロッソの町にあるリストランテで食べた「スパゲッティ・アツラ・ヴォンゴレ」は圧巻であった。スパゲッティの入った皿を、パイ生地で全面に覆って出して来る。あちこちの席で歓声が上がる。パイ生地も程よい柔らかさで食べられるのだった。その下の「スパゲッティ・アツラ・ヴォンゴレ」が絶品だった。そしてまた店のママが素敵なイタリア美人だった。

「ヴォンゴレ」は美味しい。やはり「あさりげ」は国境を越えても美味しい食べ物である。

6) 「みろっげ」(みろく貝、赤貝)

「みろっげ」も潮干狩りで獲れたし、行商の小母さんも持ってきた。これは主に煮付けにして食べた。しつかり味をしみこませた方が美味しいと思う。

伝習館の野球部を辞めた後の春休み。木原繁幸と中村信人と3人で沖の端の缶詰工場にアルバイトに行った。それが、煮た「みろっげ」を缶詰に詰める仕事であった。家ではたまにしか食べないのだが、こんなに沢山「みろっげ」があるのかと驚きながら缶詰に詰めたことだった。4・5日も行ったであろうか。こんなアルバイトを探してくるのは木原だった。父親を早く亡くした彼にはたくましい生活力があつた。「みろっげ」は佃煮も旨い。

7) 「あげまき」

「あげまき」は縦長の二枚貝で、すこぶる美味しい。塩汁が美味しい。しかしバター焼きや酢味噌和えも申し分ない。「あさりげ」には申し訳ないが、ランクが一つ上ではなからうか。ところがこれも最近ではあまり獲れないと聞く。兎に角有明海異変である。

昔、料理屋で、初めて「あげまき」を食べる山里から来た客たちに、女中が「吸い物のあげまきは、へこばとってかから食べてはいよ」と言ったとか。客たちは怪訝な顔をしながらも、禰を外して食べたという笑い話がある。「あげまき」の身には黒い紐状のものがまつわりついている。それを我々は「へこ」と言った。それを取って食べるのである。また

長さ不揃いの水管が2本付いている。いつも柳川に帰ると「くっぞこ」と「あげまき」の塩汁を食べたいと思った。いずれも漁獲量激減らしい。思うに任せない。

関東に来て、30年以上前、千葉を車で走っていると、国道沿いに海産物の販売所があったので立ち寄りてみた。何と「あげまき」がある。横の札には「まてがい」と書いてある。「まてがい」はもつと細い。このあたりの人はその違いをあまり知らないのだと思う。よその土地の産であつたらう。韓国でも獲れる。以後、関東で「あげまき」を見たことはない。

「あげまき」は美味しい。あの「へこ」を取って食べてみたい。パンツぐらい外しても良い。その復活を願うや切である。

#### 8) 「たいらぎ」(たいら貝)

関東で「貝柱」と言えば、当然帆立貝の貝柱である。「たいら貝」は3角形の貝のままで売っているが、貝柱として売っているのはごく稀でしかない。

柳川では「たいら貝」のことを「たいらぎ」と言う。我々にとって「貝柱」といえば「たいらぎの柱」のことである。そして「たいらぎの柱」の刺身は、他の追隨を許さない刺身であつた。淡白な味だが、実に美味しい。昔から安価なものはなかつた。高価なもので、正月に「貝柱の刺身」がずらりと並ぶ家は、財力のある家だつた。刺身の他に塩焼き、照り焼き、バター焼き、なんでも美味しい。酒がすすむ。

「たいらぎ」はその「貝柱」が美味いが、「じご」も美味しい。我々はこれを「たいらぎのじご」と言った。「じご」とは「はらわた」のことである。酢の物にしたり、また三杯酢で酒の肴にもつてこいである。このあたりでは「帆立のひも」というのを売っている。

昔、潮干狩りに行くときに、「あさりげ」には飽きたから、「がね」か「たいらぎ」のところに連れて行ってくれと頼んだ人がいたとか聞いたことがあつた。これも有明海では収穫激減とか。嗚呼！有明海よどうした！

この「たいらぎの柱」を酒粕に漬けたものが「貝柱粕漬」で柳川を代表する逸品である。昔は旭町の「水産堂」が作っていた。今は南長柄町に移転して大きな店になつた。最近「高橋商店」も参入して「水産堂」を凌ぐ勢いだという。揃って頑張つて欲しい。

これは酒粕も一緒に食べる。わざび漬と同じである。しかし知らない人は、奈良漬のように「柱」だけを食べることがある。私の妹が昔上京して知人の家に泊まった折「貝柱粕漬」を土産に持参したが、夕食の時「頂きものですが」と言つて出されたのは、粕を洗い流した「柱」だけで、それを見て絶句したという。粕も美味しいのだ。

#### 9) 「うみたけ」(海茸)

沖の端の魚屋の店で見ると、「みる貝」に似た形状の少し色の黒い貝で、貝の間から長い太い黒っぽい水管が伸びている。これが「うみたけ」である。貝に

は独特の匂いがあるが、形状とは似ても似つかぬ美味しいものである。所謂珍味である。新鮮なものは刺身でもよい。酢の物にも良い。また干して乾燥させた干物は、焙つて酒のあてにもつてこいである。

干物の「うみたけ」は表面が黒いところから、夏に日焼けをして真っ黒になつた子供を、そして薄汚れたような子供を、「あの子はうみたけのごたる」とか言つたりした。

新鮮なものを酒粕に漬けたものは「海茸粕漬」で「貝柱粕漬」と双璧をなす逸品である。食べ方は「貝柱粕漬」と同じである。粕は洗い流してはならない。美味いものである。

#### 10) 「しゃっぱ」(しゃこ)

柳川では「しゃこ」のことを「しゃっぱ」と言う。初夏が「しゃっぱ」の旬らしい。広島にいる頃は岡山に出張した折時々食べたが、大阪でそして埼玉で暮らすようになってからは「しゃっぱ」を食べるのは専ら寿司屋だけになつた。だが「しゃっぱ」は美味しい。塩茹でか少し醤油を入れて煮たものに、しっぽの方から箸を入れて割くように腹をはがす。身にかぶりつき、背側に付いた身を箸でこそぎ落とす。美味い。

「しゃっぱ」は身が綺麗に取れないのだつた。しかし寿司屋で出る「しゃこ」は綺麗な姿をしている。千切れた様なものはない。コツがあるらしい。テレビでははさみで両側を切つて身をきれいにしていた。上手くやれば出来るものであ

る。この握り寿司はまことに美味しい。上野の有名なおでん屋「たこ久」ではしゃこの爪の身を出してくれた。どうやってあの身を取り出すのだろうか。北海道の石狩湾の「しゃこ」は大きくて美味しい。瀬戸内海でも沢山獲れる。岡山県の日生(ひなせ)は「しゃこ鍋」が名物である。生きているのを鍋に入れたら鍋から跳ねて飛び出した。しかし美味しい。

#### 11) 「わけんしんのす」(わけ)と(も)

珍味といえはこれであろう。代表格であると思う。味噌で煮るが、あの得体のしれない食べ物はどうしてどうして美味い。「いそぎんちゃく」を味噌で煮て食べると言えば、知らない人の多くは、眉をひそめて敬遠するであろう。父はこれが好きだつた。大好きだつた。私は子供の頃は口にしなかつた。父が食べるのをただ怪訝な顔をして見ていた。やがて父の影響で少しずつ食べるようになって、今は酒のあての好物の一つになっている。肛門をすぼめたような形状は良くないが、口に入れるとコリコリとした食感が良い。美味い。

平成31年1月末、親友中村信人の急逝で柳川に駆けつけた。通夜の後、一人で鍛冶屋町から寺町の広い通りへ出たら「有明海」という看板が目に残まつた。少し腹も減っているし、お浄めのつもりで店に入った。燗酒を頼んでメニューを見たら「わけんしんのす」とある。早速注文した。旅立つ信人を偲び、冥福を祈りながらも、久々にふるさとの味を楽しんだ。許せよ、信人よ！安らかに眠れ



よ、信人よ!

1人2人と親しい友達が旅立っている。まことに寂しい。

12) 「めかじゃ」(しゃみせん貝)

これも珍味の一つである。これは最近とんとお目にかからない。昔からご飯のおかずになるような代物ではなかった。カブトガニを小さくしたような姿をしていて、しつぽの方をまずかじる。甲羅みたいなどころの下の身らしいのをついて食べる。といった具合だったと思う。酒のあてにはなるだろうが、腹のふくれる様なものではなかった。少しでよい。珍味なのだから。特に美味いとは思わないが、懐かしい。

13) 「うちがき」

柳川では「かき(牡蠣)」のことを「うちがき」と言った。「あさりげ」や「みろつげ」売りの行商の小母さんがやってくる。季節によっては「うちがき」もあったと思う。「かき」は勿論殻つきのまま、ゴム手袋をして目の前で「かき打ち」をしてくれる。最近魚屋やスーパーで売っている養殖ものとは違って、天然物だから小粒であった。有明海の石垣などに付着しているのを採って来たのである。何度か食する機会があったが、その頃そんなに美味いものとは思わなかったような気がする。今では酢がきやかきフライなど好物となったが、広島に13年住んで、より一層の好物となった。

「うちがき」とは、目の前で「かき打

ち」をするのでそう呼ぶようになったのであろうか。

14) 「むつごろう」と「むつごろう」

柳川の街を抜け南へ車を走らせると、やがて海岸の堤防の上に出る。眼下に有明海が広がり、遠く海に向こうに「白雲なびく」雲仙岳が見える。右手は多良岳である。潮が引くと広大ながた(潟)が広がり、その上を無数の「むつごろう」が飛び跳ねている。「むつごろう」は飛び跳ねないので分らないが。近來、「むつごろう」は有名になった。しかし、私の子供の頃は食べるものという認識はなかったと思う。今では、かば焼きにするとか、甘露煮が美味いとか言うが。「まだ食べたことはないが一度食べてみたい」と畏友椋鳥啓之君(昭代出身)に言ったら、早速兄の計らいで「ムツゴロウの甘露煮」と「ワラスボの燻製」が送られてきた。沖の端の「夜明茶屋」がやっているのだ。酒の爛をして「むつごろう」を早速いただいた。「むつごろう」はボキボキと折りながらかじって食べた。啓之君には悪いがいずれもそれほど旨いものとは思わなかった。「ごめんさい、でもありがたい」。しかし、懐かしい有明海の潮の香りが漂っていた。

15) 「エーがんちよ」(「エイ」のことである)

柳川では「えい」を「エーがんちよ」と言った。関東では「かすべ」と言っている。これは切り身で売っていた。安い魚であったであろう。8人家族の我が家

の夕食の主菜で、時々食卓に上った。切り身は骨が少ないので量感がある。しかし独特の匂いがあった。あまり美味い魚ではなかったが、仕方なく食べた。他に何もないのでから。

16) 「海苔」

海の恵みで「海苔」を忘れてはなるまい。今や、有明海や柳川を代表する海産物である。私が子供の頃、まだ「海苔」の話は聞いたことがなかった。「海苔」とは浅草海苔だった。

有明海の自然環境が「海苔」に合っていたのであろう、大飛躍を遂げた。品質的に見ても我が国トップクラスらしい。私が所帯を持つてから、父が時折送ってくれた。

広島に住んでいた頃、酒を飲んだ後、時折「八巻」というおむすび屋に行

た。かつお出汁の効いた赤だしが美味しかったが、おかかの入ったおむすびを包んだ海苔が抜群にいい。「この海苔は？」と訊くと、「有明ですよ、入札に飛んで行って、最高の海苔を買うのですよ」と主人が言っていた。何となく嬉しかった。

17) 「がねつけ(漬)」

小さなしおまねき(まがね)を殻ごと砕いて唐辛子(柳川ではこれを「こうしゅ」といったように思うが)を入れた塩辛いであるが、熱いご飯に少し垂らしたようにして食べた。酒の当てにはならないと思う。辛いのでそのまま食べたことはない。大いに食欲をそそられると言う

人もいる。「がん漬」とも言うらしいが、私たちは「がね漬」であった。有明海らしい食べ物である。しかし、懐かしい。瓶詰めにして売られている。

18) 「あみ漬」

「あみ」の塩辛である。「あみ」を塩漬けにするが、熟成するとピンク色になる。熱いご飯の上のせて食べればこれもまた旨い。酒のあてには少しでよい。生の「あみ」も売っていた。母は大根を煮るときにこれをどっさり入れた。食べ応えがあつておいしかった。これもまた懐かしい一品である。「あみ漬」も瓶詰めで売られている。

「川の恵み」

1) 「うなぎ」と「うなぎめし」(せいろ蒸しと言わずに、「うなぎめし」と言った)

これは実に美味い。今や、柳川を代表する名物として指を屈しなければなるまい。

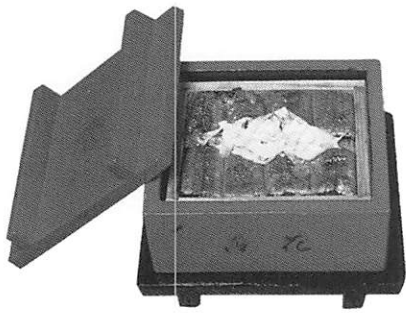
たまに柳川に帰るが、通りはシャッターの下りているところが多く、なんとなく活力を感じられない中で、「うなぎめし(うなぎのせいろ蒸し)」は知名度抜群で、元気が良さそうである。そして、知名度に匹敵するだけの美味を誇っている。最近のうなぎの高騰が懸念の材料ではあるが。

子どもの頃、うなぎは料理屋で食べるものではなかった。父が釣ってきたうなぎを、家で割いて、焼いて、またたれを

つけて焼いて、そして食べるものだった。「本吉屋」や「若松屋」は「うなぎめし」の名店であるが、そういうところで食べたのは自分で稼ぐようになってからである。

「うなぎめし」は時間がかかる。白焼きにして、更にたれをつけて焼いた「うなぎ」を、蒸籠でたれを沁み込ませて蒸しためしの上に乗せ、さらに蒸して、上に錦糸卵を振って出す。骨せんべいをつまみ、酒かビールを飲みながら、また畳にごろりと横になって待つ。運ばれて来たら、錦糸卵をかき分けてうなぎと飯を口に入れる。香ばしいうなぎとたれの沁み込んだ飯が口中に拡がる。この至福のひとときは例えようがない。ふるさと柳川を実感する。

「うなぎ」は食べるだけではなく、はえ縄釣りもやってみた。2メートルくらい竹竿を20本ほど用意して釣糸の先の針に餌を付けて、夕方宮永橋あたりの菰や葦の中に刺しておく。朝早く見回りに行くのだが、先に揚げられていることが多かった。早起きには上がっているものである。この釣果はなかった。



## 2) 「どじょう」

関東に来て、出身が福岡の柳川と言うと、「柳川鍋(どじょう)」ですか」と言われることがある。「いや、柳川はうなぎですよ」と答えるが、実は「どじょう」もあった。「柳川鍋」の店はないが。戦前、細工町の本光寺の向かいあたりだったと思うが、川魚を扱う店があった。表の水槽の中にじょうが沢山入れてあって、水面まで上がってまた下りて行くのを、飽かず眺めていたことがあった。呼吸をするのであろう。川魚の卸をやっている店だったらしい。また、戦時中、母が「どじょう」のかば焼きを持って帰ってきて、皆で食べたことがあった。美味しかった。

子どもの頃、夏休みに宮永あたりに泳ぎに行く。泳ぎに飽きて灌水路に上がっている「こぶな」などの小魚を追うと、時々「どじょう」が上がっている。大きいのを4、5匹捕まえて持って帰って、かば焼きにもらった。結構美味かった。

## 3) 「ふな」

「ふな」は筑後の川魚の代表である。一般的に川魚の代表は「あゆ」と言われるかもしれないが、筑後では特に柳川あたりでは「ふな」に決まっている。清流に住む「あゆ」は柳川では獲れない。

釣り好きの父は「釣りは、ふな釣りに始まって、ふな釣りに終わる」と言っていて「ふな」釣りに情熱を注いだ。縁側の軒下にはふな釣り竿が束にして吊るしてあった。裏庭の柿の木の下の生ごみ置き場

には、ミミズがよく湧いて釣りを助けた。

「ふな」は甘露煮が美味しい。甘辛いこつてりした煮付けにして少し煮詰めると、身がポロリと取れるようになる。また、焼いても美味しかった。これは保存食になる。沢山釣れた日には焼いて串刺しにして、藁を棒状に束ねたものにぐるりと突き刺して台所の天井に吊るしておいた。野菜と煮るといい出汁が出て、とても美味しい。

## 4) 「どんこ」

これも絶滅危惧種の川魚であろう。堀の砂利の川底にじつと腹這いになっている。迷彩色で分かりにくい、じつと目を凝らしてみるといるのが分かる。口の先にえさをもつていくとぱくりと食いつく。釣りやすい魚だった。また石垣の中に潜んでいることもある。釣竿の先にL(エル)字型に細い竹枝を付け、その先から餌を付けた釣り針が出るようにした。「どんこ」釣り専用の竿を用意していく。石垣の隙間に餌を付けた竿を差し込むと「どんこ」がかかってくるというわけである。宮川壯君と舟に乗って鋤崎土手あたりまで、城内から堀を遡って行って「どんこ釣り」をした。「どんこ」は甘露煮が美味しい。とても美味しい。

## 5) 「手長えび」

夏休み、朝早く起きて「手長えび」をとりに出かける。道具は「きん網」である。「きん網」とはどういう字を書くのか忘れたが、直径25センチくらいで、網

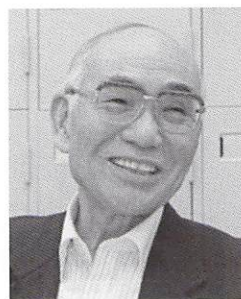
は細い透感のあるテグス状のもので出来ている。福厳寺を過ぎて宮永橋のあたりが漁場である。橋の下の石垣やコンクリートの壁に横になってじつとしている。そこへ少し遠くから網を入れて寄せたいて、被せるようにして仕留める。これは朝早く行かないといけない。早起きが必要なのである。寝坊すると誰かに取られるし、子供たちが泳ぎだすと、えびはどこかへ行ってしまう。これは煮たら赤くなっても美味しくかった。今でもいるのだろうか。

## 6) 「ざりがに」

「ざりがに」は釣ったこともあるが、手づかみをした。宮川壯君と舟に乗って掘割をあちらこちと漕ぎ回り、岸の土の中に穴を掘って潜んでいるのを、手を入れてつかみ出す。これには舟がいる。その頃、今人気の「舟下り」などやっていた。城内のあちこちに財力のある人が舟を持っていた。それを借りるのだ。坂本町の宮川にもあった。壯君の家にもあったと思う。何しろ乗って遊んだのだから。「ざりがに」も煮て食べた。煮たら赤くなり、美味しかった。

## 新型コロナ禍と日本人の働き方改革

高5 下河 秀行



毎年帰郷し、年に一回母校伝習館高校（平塚健士校長）を訪問したり、柳川市役所を訪ね

て「柳川観光大使」として、金子健次市長に対して日頃の活動報告をしているが、昨年は「新型コロナウィルス感染拡大」の影響で残念ながら出来なかった。中国武漢市で発生した新型コロナウィルス感染症は、昨年初から全世界に拡大し、大袈裟に言えば人類の生存を脅かしていると言える。

昨年の十一月八日で世界の感染者はなんと五〇〇万人、死者は一二五万人を越えるほどの猛威をふるっている。

現代の先進医学を以ってしても、なかなか終息しない。この厳しいコロナ禍時代は、今後どう変化するかを考えてみることにした。

コロナ感染拡大が世界を変える

一、新型コロナ禍で世界経済が危機に陥っている

二、二〇二〇年四月～六月の米国GDPは対前年比で三二・九%減、欧州圏は四〇%減で日本のGDPも二八%

と急激に減少している。

三、自国主義の米中新冷戦など経済危機を如何に乗り越えるか、今後の大きな課題となる。

四、AI『人口知能』、ロボット、ドローン、ITなどの最新のテクノロジーが人間社会を大きく変えることになる。

五、今回の日本経済は、リーマン・ショックの時より厳しく、今後も落ち込み、M&A（企業の吸収合併）、企業のリストラ、倒産などが増えることが予想される。

六、一昨年、四〇〇〇万人近くの外国観光客（インバウンド）が、コロナ禍規制でなかなか回復しないことが考えられる。

このように世界や日本経済は、大変革期を迎えるであろう。

さて、政府は新型コロナの予防策として3つの密（密閉、密接、密集）を避けることから始まり、緊急事態宣言を発し、クラスター（集団感染）に至らぬように、不要不急の外出を控えるよう要請した。

WHOは、少し遅れてパンデミック（世界的な大流行）を発表。都知事はロックダウン（都市封鎖）の可能性に言及、東京アラートなど次々と発信した。私たちは自らの命を守るため外出を控えている。

しかしながら、コロナ感染拡大で、ここ数カ月で日本経済は疲弊している。政府は、コロナ感染対策で巨額の補正予算

を国会成立させた。また経済再生のため、七月二十二日からスタートしたGOTトラベルで、東京発着は、一時この特典から除外された。日本は、「コロナ禍対策と経済再生」の両立が非常に重要となる。

ただ長い歴史を辿れば、これまで人類は常に多くの困難を乗り越える英知を持っている。

日本人の働き方が大幅に変わる

既に、日本は「人生一〇〇歳時代」で、七〇歳を過ぎても働きたい人は増えているし、このコロナ禍でここ数年の課題だった「日本人の働き方」が大きく変化している。

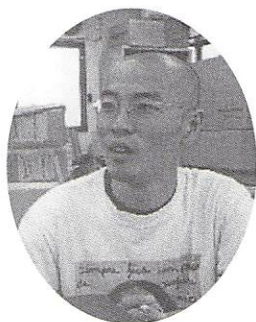
即ち、自宅で「テレワークやリモート会議」など、オンラインを活用した業務を遂行している企業が急激に増加してきた。よく考えれば、リモートで業務の進行を考えると、何も過密都市東京で仕事しなくても、自然豊かな故郷に帰り、のびのびと生活する術もある。

これから「日本人の働き方改革」は、リモートやSNSの拡大で、大幅に刷新されることになるだろう。

いずれにしても世界主要国で、コロナ新薬ワクチンの開発がされて、非常事態が一日も早く収束することを願ってやまない。

## 35期 加茂克也さん 追悼 「ファッショ世界の異端児 として斬新な世界観を貫いた人生」

高35 池上 英次



在りし日の加茂克也さん

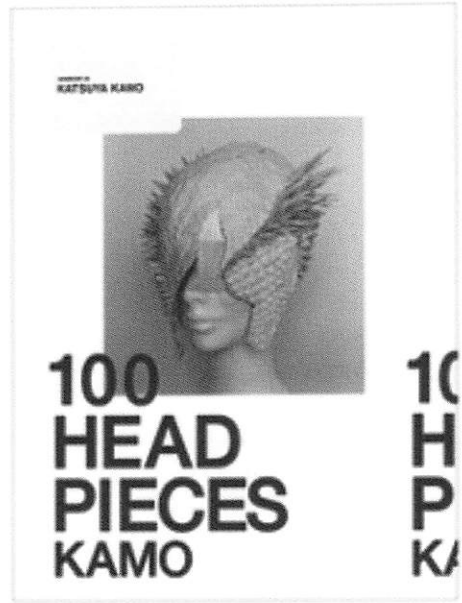
世界的なヘアメイクアップアーティストとして活躍していた同級生（35期）の加茂克也さんが2020年2月に54歳の若さで亡くなりました。とても残念であるとともに、最後まで自分の生き方を貫き通した同級生の生き方に対して誇りを持ちます。

加茂さんは、大川市の出身で実家は家具屋を営んでいました。伝習館を卒業して美容専門学校へ。その後フランスに渡ってファッションを本格的に学び、帰国後フランスでの経験を活かして様々なブランドのコレクションを担当し、活躍の場を広げました。

1996年には私のような者でも名前を知っているジュンヤワタナベ・コムデギャルソンやアンダーカバーのパリコレクションを担当したり、高級ブランドのシャネルのオートクチュールデザインも



2013年ラフォーレ原宿で開催された大規模展（加茂克也展「100 HEADPIECES」）  
多くの同級生が展示会を見学に行きました。



2013年に発行された写真集  
世界のランウェイを魅了したヘッドピース作品  
の集大成の中から本人により厳選された100点程  
が収録されています。

担当するなど、実績を積んでいきました。オーダーされた内容にきちんと応えた上で独自の世界観をプラスしているとの評価で、加茂くんが作るスタイルはこの頃には業界内外で高く評価されていたようです。

それらの活動により、2003年に毎日ファッション大賞受賞となりました。この賞は、過去に三宅一生さんやコシノヒロコさんが受賞された名誉ある賞で、しかもデザイナー以外からは初の受賞とのことでした。あらためてこの賞の受賞理由をインターネットで調べてみると「既成概念を打ち破る独創的・芸術的ヘアデザイン」とありました。この文章にも加茂君の異端児ぶり、生き様を垣間見ることができました。

この受賞のことは、東京同窓会会報の第3号（2004年1月発行）にも記事が出ており、私たち同級生にとっても当時の活躍と受賞は大変な誇りでした。

その後、加茂君は広告やショーも手掛けるようになり、さらには写真集を出版したり、それと合わせてラフォーレ原宿でも大きな大規模作品展を開催したり、一方でフランスと日本に拠点を作って行き来したりの大活躍です。私たち同級生も記事では活躍ぶりを知っていたのです

が、実際に加茂君の数々の作品を作品展で目の当たりにして、卓越した世界観や斬新な発想に圧倒されたことをよく覚えています。

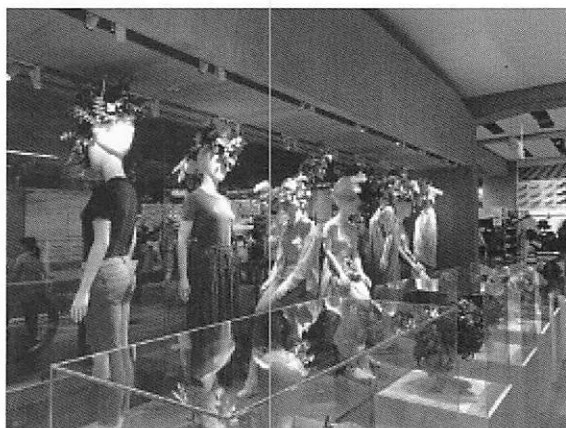
作品展には、採集した昆虫の箱が置いてあり、聞くところによると加茂君は昆虫やキノコなどの自然からヒントを得て作品に生かしていたようです。これらの作品には、地元の大川市での小さい頃からの自然体験や、家具屋で育ったことによる職人のこだわりなどが生きていたのではと想像しました。

活動も素晴らしいのですが、加茂くんはその人柄からたくさんの人に慕われていました。直接会ってみると気さくで謙虚で人間味がある人です。

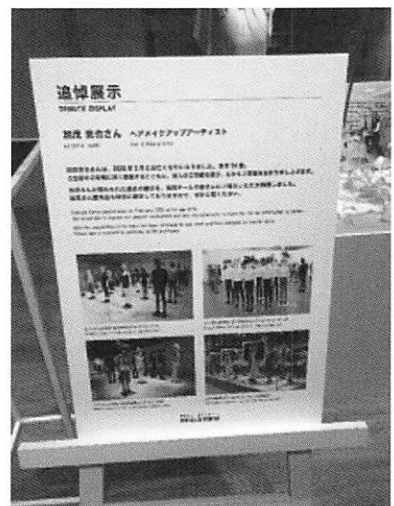
加茂君が亡くなったことを受けて、富永愛さん・松島花さん・水原希子さん・松田翔太さんなど多くの著名人が追悼コメントを発表されました。加茂くんのヘアメイクの技術だけでなく人柄も魅力的だったため、多くの人が死を悼んだのだと思います。

実は、私は昨年、東京同窓会会報の記事を今度お願いしたいと加茂君にLINEメッセージを出していました。「会報いいよ。もし私ごときで良ければ」とすぐに返事が来て、偉ぶらない自然体の加茂君のメッセージを受け取ってしまいました。次の機会にと考えていたのですが、残念ながら今回追悼記事を書くことになりました。

そのあと加茂君の追悼展示が、6月に



追悼展示のディスプレイの様子



銀座「UNIQLO TOKYO」での追悼展示案内

東京・銀座に新たに開店したユニクロの新旗艦店「UNIQLO TOKYO」2階の一角で2カ月間開催され、ユニクロのために作ったヘッドピースや、ブラシなどの愛用品が並んでいました。加茂君はバリコレなどのショーだけではなく、ユニクロなどもタッグを組み、広告や展示会、ウインドーディスプレイなどに携わって世界観をビジュアル化する幅を広げていました。コロナ禍の外出も緩和された7月、加茂君の作品の数々を見て回り、あらためて彼の世界観に圧倒されました。

最後に、加茂君は直観やインスピレーション、そして現場でまさに起きていることを大事にしていたようです。また、既成概念にとらわれず、新たな創造性を発揮することにこだわり続けていたと聞きます。私のいるビジネス界でも、今はチェンジ、トラスフォーメーションなどこれまでのビジネス路線を大きく変える動きが活発になっていますが、実際のところは前例のない道なき道で、その先頭に立ってやることは、とても大変なことです。自分の前には誰もいないのですから、批判を受けたりしながら活動し、それに志を持って耐え続ける必要があります。

既成概念にとらわれないからこそ業界の異端児と言われているのでしょうか、このような人たちが社会を少しずつ前進させていくのだと思います。少し短い人生でしたが、全力で全うした人生であったようにも感じます。ご冥福をお祈りします。

## 「コロナ禍」に思うこと ～同窓会ほか催事は 次々と中止・延期に

高21 北島 正常

2020年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)、通称「コロナ」に明け暮れた一年となった。伝習館東京同窓会は5月17日に予定されていた総会のための幹事会を開くことも困難となつてしまい、幹事たちはLINEを通じて開催についての意見を交換。白谷会長が意見を集約し、柘島副会長、江崎前会長と最終判断、「同窓生、ご家族が安心して参加を同意できる同窓会でなければ、開催は控えるべき」ということで1年延期が決まった。3月3日のこと。このあと感染は拡大の一途を辿り、4月には首都圏に緊急事態宣言が出され、事態は悪化していった。

平和・スポーツの祭典・東京五輪とパラリンピックの開催も苦渋の決断の末、1年延期された。学校、修学旅行、高校野球甲子園大会、イベント、コンサートなどが密集するものは軒並み自粛要請へ、何もかもが控えられる異常事態となった。首都が長期に不自由・困難を強いられるのは戦時下の大空襲以来ではないかとさえ思われた。およそ100年前、1918年(大正7年)頃に世界で猛威を振るい、国内で2400万人強が感染し、40万人近くが亡くなったスペイン風邪(流行性感冒)世界で5億人が感染、

2千万～5千万人の死者)のことが頭を過ぎった。前に祖母からその惨事を聞いたことがあったからである。

2002年のSARSコロナウイルス感染症はアジア、カナダで感染拡大したが日本に上陸する前に半年ほどで消えた。また2012年発生のMARSも感染拡大の傾向を見せたが、日本への飛び火はなかった。そこに2020年、今回の新型コロナウイルス感染症である。この感染症は長期にわたり感染拡大し、世界で数千万人が感染し、死者100万人強と、21世紀のパンデミックとして歴史に名を残す疫病発生となった。

都市のロックダウン(封鎖)は不可能で、対処法として3密(密閉・密集・密接)を避ける、対人距離をあげソーシャルディスタンスをとる、マスク・手洗い・うがい・消毒という行動を常時励行することだけが、感染を予防する手立てとなった。職場通勤は避け、リモートワークという在宅仕事に切り替える企業が急増した。大学も新学期からオンライン授業となる。経済を回す動きとともに、大相撲・プロ野球・Jリーグは遅れて始まり当初、無観客で動き出した。

筆者は、50年近く東京で暮らしているが、かほどに社会機能をマヒさせ、困窮させた事態は経験がない。ほとんどの人が初めて経験する異常事態だけに同窓会会報でも記しておくことにした。

ことは年明けから動き出した。1年のコロナの動向について時系列で追うと――。

1月

中国・武漢市で広まった新型コロナウイルス感染症。WHOから中国やアジア各国の発生状況が報告される。16日、厚労省が国内初の感染者を確認と発表。

2月

5日、国内で大型クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス」の乗員乗客に感染者が多数出て、注目された。神奈川県で初の死者。安倍首相は、大規模イベントの自粛、全国の小中学校も春休みまで休校を要請。予防に手洗い・消毒・マスクを奨励。

3月

11日、WHOがパンデミック(感染爆発)と認定。感染力が強く、欧州



4月の緊急事態宣言下、数寄屋橋交差点は人もまばら

で感染が急激に拡大する。改正新型インフルエンザ等対策特措法が施行。24日、東京五輪・パラの延期決定。25日、小池都知事が週末の外出自粛を要請。重症化した患者には人工心肺装置エクモが必要に。29日、人気タレントの志村けんさんが感染し肺炎で死去、衝撃をもたらす。米はパンデミックとなり最大感染国に。国内経済はインバウンド客がなくなり景気下ぶれ。

4月

首相から「アベノマスク」配布発表。7日、東京・大阪など7都府県に緊急事態宣言が出される。16日には全国一斉に緊急事態宣言を発出。14日、東京都は遊興施設などの休業要請開始。20日、一律10万円給付のための補正予算案を閣議決定。23日には女優の岡江久美子さんが感染後、重症となり急死。

5月

4日緊急事態宣言を5月末まで延長決定。日本が欧米に比べ感染も死者も少ない理由は生活様式（あいさつの仕方、靴脱ぐ、マスク習慣）にあると海外メディアが報じる。14日から各地で解除が始まり、25日、首都圏・北海道の緊急事態宣言解除。東京都感染者は1万8000人、死者963人に。世界の感染者817万、死者45万人。最大感染国の米国は感染者214万、死者11万7000人と桁違いである（17日時点）。東京都はPCR検査数を増やし、新宿繁華街を重点的に検査。結果、陽性者が急増。

6月

観光支援のGOTOトラベルが始まったが感染元の東京は対象外に。「東京は諸悪の根源」と兵庫県知事が批判。都民の地方移動が憚られた。東

7月

京五輪の開会式の日だった7月23日に東京の感染者は最大の366人に。累計の国内感染者は3万人余、死者も10000人を超える。それでも重症化、死者は緊急事態宣言時より、減少傾向に。

第2波の到来かと思われる感染者増。東京都で1日490人超えも、以後右肩下りの傾向。この月末、世界の感染者は2522万人超、死者84万人超。日本の感染者数6万7968人、死者1285人。

8月

第2波が減少傾向を見せ、19日、映画館や演劇場の入場者の上限撤廃。プロ野球、Jリーグなどの観客増もOKに。GOTOトラベルの事業対象として東京在住者も対象となる。観光客が増加。欧州では再び感染拡大。世界の感染死者100万人超える。

9月

世界からのビジネス入国を一部再開。日本ではダブル感染を防ぐため、インフルエンザのワクチン接種を開始。2日、トランプ米大統領が夫人、子息ともに感染。

10月

欧州は旅行者増でさらに感染拡大し、日本も第3波到来の予感。仏、独、英では外出など人の行動制限を強化。コロナ渦中の米大統領選挙はバイデン氏勝利も混乱状態に。

11月

初詣や年末年始の屋内外イベントに人数制限や規制を実施。NHK紅白歌合戦も無観客で開催。

12月

鎮まらない感染拡大、失われた一年

感染を判定するPCR検査の件数が増えるにつれ、陽性は急増。5月にひとケタまでに減った都の感染者は7月に300人超えに。発表される都の感染者数に

一喜一憂する日々が続く。特に20、30代の若者で、コロナ感染しても若い人はほとんど無症状で、気が付かない。一方、高齢者や闘病者が重症化しやすい。外出を控えてという要請には、高齢者で病院やデイケア施設に通う人も困難を強いられた。高温多湿の7月までには収束するのではという期待もあったが、衰えを見せず、コロナとの闘いは長期戦となる。

コロナの感染死者は家族の立ち合いも許されず、火葬され、遺骨となって家族と対面する悲惨さは、志村けん、岡江久美子さんら芸能人の死で明らかになり、この疫病の怖さを増幅させることになった。

経済活動と感染拡大のジレンマ

緊急事態宣言も時限的でひと月ほどで解除、「日本モデルは成功した」、「早く経済を回せ」という風潮に変わる。グローバル化を歌いながら、コロナで外国人が来訪できない。鎖国状態のためインバウンド（訪日外国人）客はゼロに。春先から銀座、秋葉原から人が激減した。中小企業に自営業、非正規労働者、フリーランスは困窮し、失職者も増えた。

人は生計のために家に閉じこもってばかりもいられない。マスク着け、感染に注意しながら電車に乗り、職場に向かう。リモートワークなど在宅勤務も増えているが、接客仕事など在宅ではできないことも多い。一方、大学では新学期からオンライン授業となり、アルバイト収入が途絶えた学生は生活の苦境に立たされているのが実情だ。

8月、WHOテドロス事務局長が「2年以内にCOVID-19パンデミックは収束の見通し」と発言。自然消滅を待つしかないかのよう無力な見解には落胆した。当然、指をくわえて待ってもコロナは鎮まらない。飲食店も工夫しながら動き出した。大相撲、プロ野球、Jリーグは無観客で開幕し、そのあと収容人数半数まで観客の入場が認められるようになった。米メジャーリーグが感染拡大を恐れ、無観客を通したのを見ても米とは彼の差がある。

GOTOキャンペーン・トラベルといった政府の消費喚起策と観光事業支援も、経済促進を図る狙いがある。首都圏人は「東京から来た」と地方に行って語



9月の連休、銀座通りに人出は戻ってきたが…

るのは肩身が狭いという経験も初めて味わうことになった。人は長引くコロナとの関わりの中、「アクセルとブレーキ」で調整する術を身につけ、また「ウィズ・コロナ」、コロナと共に生きていく新たな生活様式をとることになる。ハン

マー&ダンス（感染拡大期の強力な抑制）ハンマーと、減少期の制限緩和（ダンス）なんていう言葉も小池都知事から流れてきたが、「ブレーキとアクセル」のたぐいであろう。早くも「アフター・コロナ」

コロナ収束後の社会のあり方を問う声もあるが、多くはまだそこまで考える余裕はないのが現状だ。

秋冬にはコロナとインフルエンザとの同時流行も懸念され、医療体制のパンクが危惧された。この波は強力で、感染が再び広がり出したら経済促進のブレーキを踏むことになるのか、政府は難しい舵取りを迫られている。

コロナの行く末は  
世界で190種近いCOVID-19対策ワクチンが開発中だが、安全性・有効性は未知なものが多い。各国がワクチン開発にシノギを削る中、英アストラゼネカ社ではDNAを無害なウイルスに入れたワクチンを開発し、治験者の9割に中和抗体ができたと発表。米ファイザー、モデルナ社もワクチン使用許可を申請。国内でもアンジェス社が春にも実用化の方向で開発を進めている。日本政府の対策パッケージには「2021年前半までに全国民に提供できる数量を確保することを目指す」と明記された。7月の東京

五輪・パラリンピック開催をにらんでのことである。

ただし、全世界にワクチンが普及しなければ、東京五輪の開催は限定的なものとなる。東京同窓会総会も然り。5月に延期分の開催が予定されているが、2、3カ月後が見通せないだけに悩める状態が続く。2020年のような自粛が今後

も続くことはないだろうが、抗ウイルス薬、ワクチンが待たれる事態は変わらない。

コロナは手ごわい疫病で、今ほど人類の英知が試されているときはない。発生原因は定かではなく、元を断ち、撲滅するのは難しい。だが過去の疫病も延々と

続くものではなく、大小の傷跡を残しながら消えていった。今回、世界中でパンデミックを許したが、コロナに打ち勝つために医療従事者、研究者を中心に官民一体となつて、懸命な取り組みがなされており、遠からず落ち着きを見せよう。老いたる我々はもっぱら感染を避け、コロナの衰退を期待しながら見守ることしかできないが…。

ただし近年の傾向からみて、COVID-19が収まっても、何年かたてば次の変異した新型コロナウイルスが発生する可能性は大きい。ワクチン開発の追いかけては続く。それでも過去の度重なる経験をもとに、人々は適切な対策・対処で感染被害を抑える知見はつけてきており、この先に光明は見えるのではなからうか。

## コロナウイルスニモ マケズ

高18 福山 博彰

—— 改作 4月作成

コロナウイルスにも負けず  
外出自粛のストレスにも負けず  
皮肉にも扱いにくいスマホにも負けぬ  
頑固な頭と免疫力を持ち

慾を剥き出しのまま決して譲らず  
いつもTVで時間をつぶしている

一日二配られたマスクをつけ散歩壹万歩と  
即席ラーメンと少しの果物を食べ  
目には蚊を耳にはセミを飼い

あらゆることにすぐさま感情的になり  
スーパールのレジでは声を荒らげ  
いつもイライラしてそしてすぐ忘れる

都会の郊外のマンションの陰のウサギ小屋に住み  
東二自国ファーストの国あれば  
行ッテそれはエゴだと説教してやり  
西ニウイルスをまき散らす国あれば  
行ッテソノ責任を問い

南ニ大規模な森林火災あれば  
行ッテコアラを助け出してやり

北ニミサイル発射実験をする国あれば  
行ッテ被弾の覚悟はできているのかと問い

ドラマを見る時は涙を流し  
年金が尽きた時はオロオロすがり

家族からボケ老人と呼ばれ  
ほめられることは孫からもなく  
のけ者として始終苦にされ  
サウイフモノニ  
ワタシハ：なつてしまった

コロナウイルスの歌  
(ドレミの歌で)

コは怖い伝染病  
口は老人危ない  
ナは治す薬ない  
ウはウーハン起源  
イは今パンデミック  
ルは累計死者無数  
スはすべき対策遅い  
さあ、気を付け過ぎましょう

※ウーハン＝武漢

詩

高14 井上 晴美

寺の鐘

グオーン、グオーン  
小さな村の、小さな寺の

除夜の鐘

今年もいろいろ あつたのも  
来る年良かごと 願いまっしょ

明けて正月、おめでとさん  
お雑煮、お重にお鉢の肴  
お参り、あいさつ、かしこまり  
ただのおせち ゆるゆると

四月八日は、花まつり、  
キラキラ輝く  
お釈迦さま  
やさしのまなざし  
お釈迦さま

甘茶をかけて ひとすすり  
童にここに ひとすすり

庭の桜は満開に

花ごぞ広げて、花を見て  
父母と 兄と弟にぎやかに  
いたたく春の、昼宴

いつの間にやら、麦の穂イタイヨ麦刈りだ  
大人も子供も、ヤッコラサ、ヤッコラサ  
時は五月の終わり頃

六月、水無月、田植えどき  
さやさや、早苗はうす緑

今日のお宮は大にぎわい  
早上り、早苗饗 大にぎわい  
ソラメメ、カマボコ、一喉坐り  
大人は ホッコリ、赤ら顔  
豊作願つて中よこい、  
田植え終えて中よこい  
子供チヨロチヨロ、中よこい

もうじきもうじき、ホタルが光る  
うめの実、ビワの実、さくらんぼ  
スナナリ、伸び伸び青桐は  
末は娘の嫁入りタンス

石榴 朱赤の花びらは  
トゲトゲ痛いよ枝の陰  
秋には寶石、ルビーの玉に  
キラキラ、キラキラ、キラキラと

冬にはじまり、春、夏、秋のひとまわり

この世の温帯

火照る、  
暑かのも……

この世の温帯、四季の交交  
崩れていくのか  
創られていくのか

戦を知らず、唯、生きてきた私  
まだまだ 未知多し  
されど、されど、  
滅びるわけにはいかず

盆過ぎて、南風が、虫の音が  
遅れ咲く朝顔いくつ

それとなく、秋のさそいが

——令和二年夏



夏、暮るる

セミ、揚羽  
ひまわり群れ咲き 盛り過ぎ  
黄色の真ん中、黒黒と  
水面、青、緑、布袋草  
うす紫の花と花

いつのまにやら陽は落ちて  
あの子、この児は散り散りに  
祖父母待ってる 夕餉の匂い  
父母兄弟も にぎやかに  
ほっかり一日 ごくろうさん

麻蚊帳チャリ、チャリ、夢の中  
夏の日暮れる、夏暮れる





## 市報おかわ



恒例のおふるうさんまつり (風浪宮大祭)

### 風 浪宮で古式ゆかしい神事



2/9-11

毎年恒例のおふるうさんまつりが2月9日から11日にかけて行われました。10日には裸身行が行われ(表紙写真)、市内に「わっしょい、わっしょい」という掛け声が響きました。11日にはお潮井詣りや流鏝馬など古式ゆかしい神事が行われ、訪れた観客を楽しませました。



## 北原白秋生誕 135年を祝う

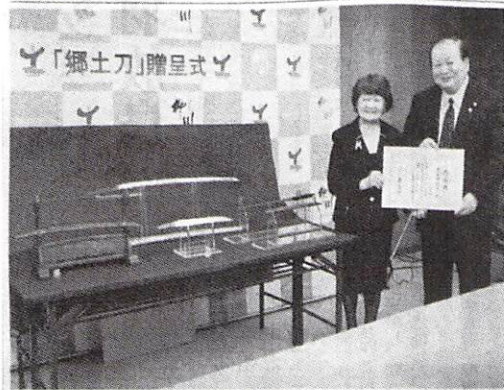
1月25日、柳川が生んだ詩型、北原白秋の135回目の誕生日を祝う白秋生誕祭が行われました。式典前のパレードでは、柳川白秋会の会員や白秋の母校、矢留小学校の児童たちが白秋の写真と酒だるを載せた大八車を引きながら、沖端地区の風濶治いを行進。雨天のため北原白秋生家・記念館で開かれた式典では、献花や献酒、同校児童が献詩や「ベナカ」、「苗葉松」を合唱。最後に出発者全員で「帰去来」を歌い、偉大な詩人の誕生日を祝いました。

1月25日 白秋生誕祭 (広報やながわ)  
1~2月はまだ各地で催しが行われていました。

## 柳川ゆかりの刀など寄贈

### 大河ドラマ招致へ力に

旧柳川藩主立花家16代当主の二女、原田万紗子さん(76)が、柳川ゆかりの刀工が打った刀、やりなど6点を柳川市へ寄贈し、26日に市役所で贈呈式があった。このうち2点が、12月に柳川古文書館などで始まる展覧会で展示される。



刀など寄贈した原田さん(左)

贈呈式で金子健次市長は、致にも大きな力になると「市が進める大河ドラマ招致」感謝を表した。原田さんは

「刀の帰属すべきところがあるはず。市で保存してもらうことで貴重さが分かる」と話した。

柳川古文書館と立花家史料館では、12月4日から来年2月7日まで「柳川再訪400年記念特別展」復活の大名、立花宗茂が開催される。今回寄贈された中から宗茂ゆかりの深い鬼塚派の脇差し、やりを古文書館で展示する。プレイベントとして12月14日に動画投稿サイト「YouTube」(ユーチューブ)の同史料館公式チャンネルで講演を配信する。(起沙 一郎)

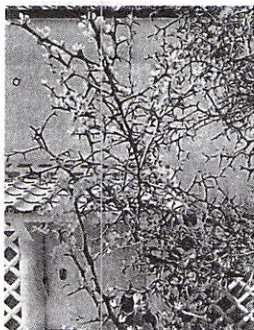
原田万紗子さん  
柳川市に刀槍贈呈  
(有明新報 10月28日号)

## 「からたちの花」の祈り

(西日本新聞、4月)



福岡県柳川市の北原白秋生家・記念館で、白秋作詞の童謡「からたちの花」にちなみ1985年に植栽されたカラタチが今年も、かれんな花を咲かせている。写真。



白秋は3歳の時、感染する」と大橋鉄雄館長。

のチフスにかかり、伝染した乳母が亡くなった。詩集「思ひ出」の中に、白秋は「私の身代わりに死んだのである」「白い柩を眺めた時その時が初めのまた終りであった」と記した。

生家・記念館は新型コロナウイルス感染症拡大を受け5月6日まで休館している。「詩聖が眺めた純白の花もきつと、この未曾有の病の早期終息を願っている」と大橋鉄雄館長。

## 賛助金のお振込方法

- ① 同封の郵便振替用紙で送る
- ② 銀行振り込みで送る場合

三井住友銀行（銀行コード0009） 鶴見支店（店番号572）  
普通預金 口座番号7329411 口座名=伝習館東京同窓会

いずれの振り込みの場合にも○回生、または卒業年度をお書きください。通信欄には近況、会報へのコメントもどうぞ。

### ◆賛助金のお願い

伝習館東京同窓会は会費制をとらず、会員の皆様の篤志である賛助金により成り立っています。東京同窓会に集まる賛助金は東京同窓会会報の発行、会員への通信、総会・親睦会・交流会の開催などの経費に使用されており、皆様からいただく賛助金が東京同窓会の運営を支えています。1口2000円から何口でも結構です（半口1000円でも受け付けています）。同封の郵便振替用紙にて送付いただき（付いてない場合は送り先、別記）、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



事務局は以下の通り。  
〒230・0073

伝習館東京同窓会事務局  
〒045・581・8193（兼FAX）

横浜市鶴見区獅子ヶ谷1・9・1白谷方

## 広告募集

### チラシ広告

対象⇨東京同窓会会員向けに製品・商品・営業内容などをPR、販売したい方。

○チラシ二千部を作成し（フォーム自由）事務局宛送付下さい。会員への会報送付時に同封郵送します。

○広告代金⇨一件につき5万円を賛助金として頂きます。別途に名詞広告も募集します。

会員の皆様からも、希望業者の方をどしどしご紹介下さい。

## 募集中！

1. 表紙絵・表紙用写真
2. 原稿—伝習館OBならダッデンヨカバンモ

○テーマ—自由（同窓会報にふさわしいもの。審査あり）

小説・随筆・詩・短歌・俳句・川柳、絵画・写真・書など

○字数制限なし・原則※常識的範囲で（原稿用紙使用、またはワード原稿をメールで送付）

写真・絵・カット添付可

○表題・投稿者氏名・卒業回か卒業年度を書いて下さい。

※原則10月20日〆切（早め歓迎）

—原稿送付先—

〒153・0051

目黒区上目黒3・21・19

伝習館東京同窓会会報局 北島 正常 行

E・mail・anc54684@nifty.com

☎・FAX 03・3713・6775

携帯 090・5532・0323

伝習館東京同窓会の Facebook

([https://www.facebook.com/pg/DensyuTokyo/posts/?ref=page\\_internal](https://www.facebook.com/pg/DensyuTokyo/posts/?ref=page_internal))

### 編集後記

○令和2年は新型コロナウイルスに席卷され、東京同窓会総会は延期、柳川の伝習館大同窓会は感染に配慮し総会のみ、懇親会は無しで行われました。今回の会報も、同期会の開催報告が寄せられる「学年だより」は皆無で、「先輩後輩より」のみの構成となりました。極めて異例の年となった中、皆さん、温めていたもの、急ぎよ書き記したいことを寄稿、若手の下河敏彦（高41）さんは同窓会への取り組みを報告してくれました。また、木庭教諭は特別寄稿で、ウナギの飼育下におけるクスノキの感染症予防効果や、気候変動により新型ウイルス出現ラッシュが続くと注目すべき推論を述べられています。明けて今年は外出・会合の自粛から解放される一年であってほしいものです。本年の投稿もまたよろしく！（北島）

○過去の20号までが見られるFacebook「伝習館東京同窓会会員限定共有情報」を設けました。現在、グループ会員のみ限定ですが、以下のアドレスに承認申請すれば、グループに入れます。（池上）  
denshu-tokyo-jimu@googlegroups.com

○琴奨菊岡が11月場所を最後に引退。土俵に立つ姿を見られないのは残念も秀ノ山親方として後進の育成にあたります。

○編集委員は次の通りです。

北島正常（編集長、高21）

内山秀生（高10）

永倉（跡部）素子（高10）

高果和登（高20）

西原正道（高21）

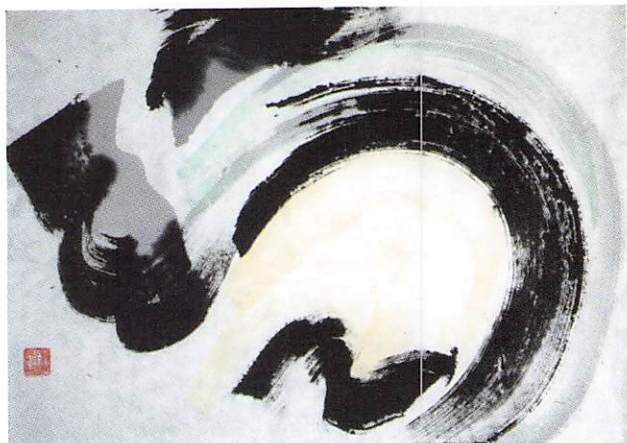
池上英次（高35）

会長 白谷政則（高21）

副会長 梶島正司（高16）

発行責任者 白谷政則

# 伝美ギャラリー



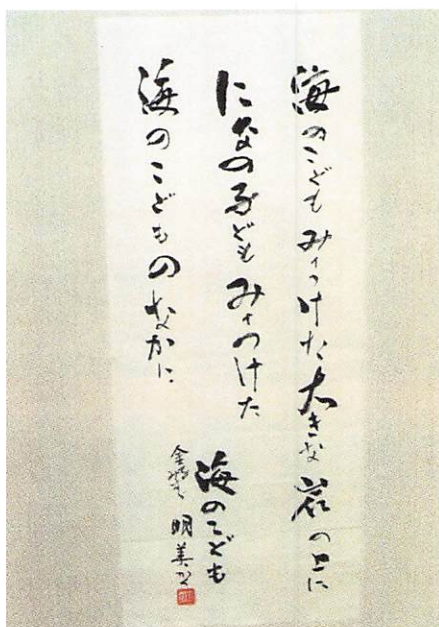
墨象「夢の彼方へ」  
高6 木村 松峯（峯子）

山ふかみ春ともしらぬ 松の戸に  
たえだえかかる雪の玉水

新古今集——式子内親王



高6 木村 松峯（峯子）



「海のごども」——金子みすゞ

(高12 春口明美)



「早春の水辺」

(高21 池末 満) 透明水彩



## 杵屋勝国師

人間国宝認定を祝う会開催される

令和2年2月5日、ホテルオークラにおいて長唄三味線界の重鎮、杵屋勝国師の人間国宝認定を祝う会が盛大に行われました。勝国師は瀬高町出身（みやま市の名誉市民）。幼年のころ柳川市内に移り、伝習館高にも在籍されたことはこの会報でも紹介しております。一昨年7月には、磨き抜かれた名人芸と、長年にわたり長唄三味線界を牽引してこられた功績が認められ、重要無形文化財・人間国宝に文科省から認定されました。祝う会では勝国師が歌舞伎で40年近く立て三味線を務めている縁から、坂東玉三郎丈が祝辞に立ち、勝国師への感謝と称賛の言葉を贈りました。



「春」 (高 21 池上 満 200 号)



facebook = 伝習館東京同窓会  
**伝習館東京同窓会事務局**

〒 230-0073 横浜市鶴見区獅子ヶ谷 1-9-1 白谷方  
TEL 045(581)8193 FAX 兼用